

事例報告I 第二部会

新たなUeLA共通基盤教育：

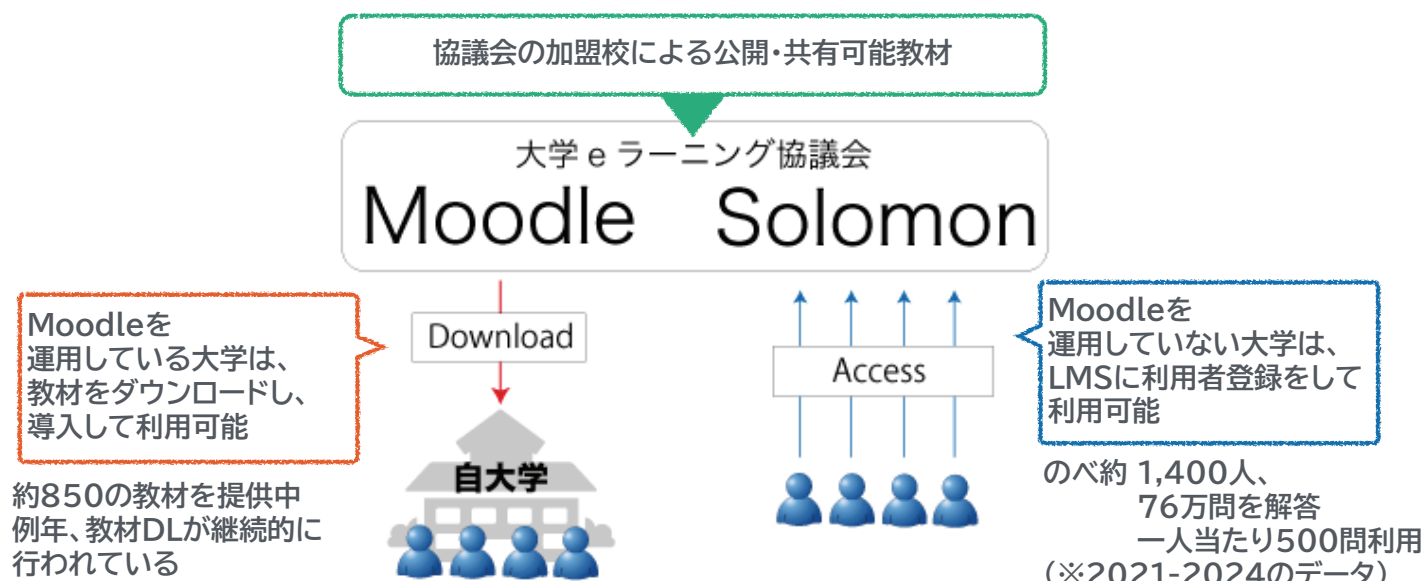
LTI型システムの提供への取り組み

公立千歳科学技術大学 情報システム工学科 山川 広人
信州大学 e-Learningセンター 新村 正明 先生
大阪教育大学 理数情報教育系 堀 真寿美 先生

1

共通基盤教育（32校が利用中）

大学の入学前後や初年次の基礎教育部分にむけて、
各高等教育機関のeラーニング用教材やシステムを共同利用できるようにする狙い
演習コンテンツを中心に提供（一部、解説コンテンツを付随）



共有基盤についてのメニュー

UeLAホームページの右上「共通基盤教育」からご覧ください

The screenshot shows the UeLA website interface. At the top right, there is a navigation bar with a search icon and a dropdown menu for '共有基盤教育'. Below this is a large banner image of graduates celebrating, with the text '共通基盤教育とは' and 'University e-Learning Association 共通基盤教育とは'. To the right of the banner is a vertical menu with the following items: '共通基盤教育とは', '利用方法', 'デモ体験', '利用可能な教材', '利用校', '利用申請', and '教材の不具合報告'. Below the banner, there is a section titled 'eラーニングを活用しよう！' followed by a paragraph of text and a small yellow arrow icon pointing up.

3

利用条件

【1. 大学eラーニング協議会に加盟いただく】

教材を本格的に利用するには、まず大学eラーニング協議会への加盟が必要です

【2. 利用申し込みをする】

申請書に必要事項を記入し、UeLA事務局に書類を提出する必要があります

⇒ 共通基盤教材をご利用する場合は、加盟費用とは別に教材利用費として7万円（年額）が必要です

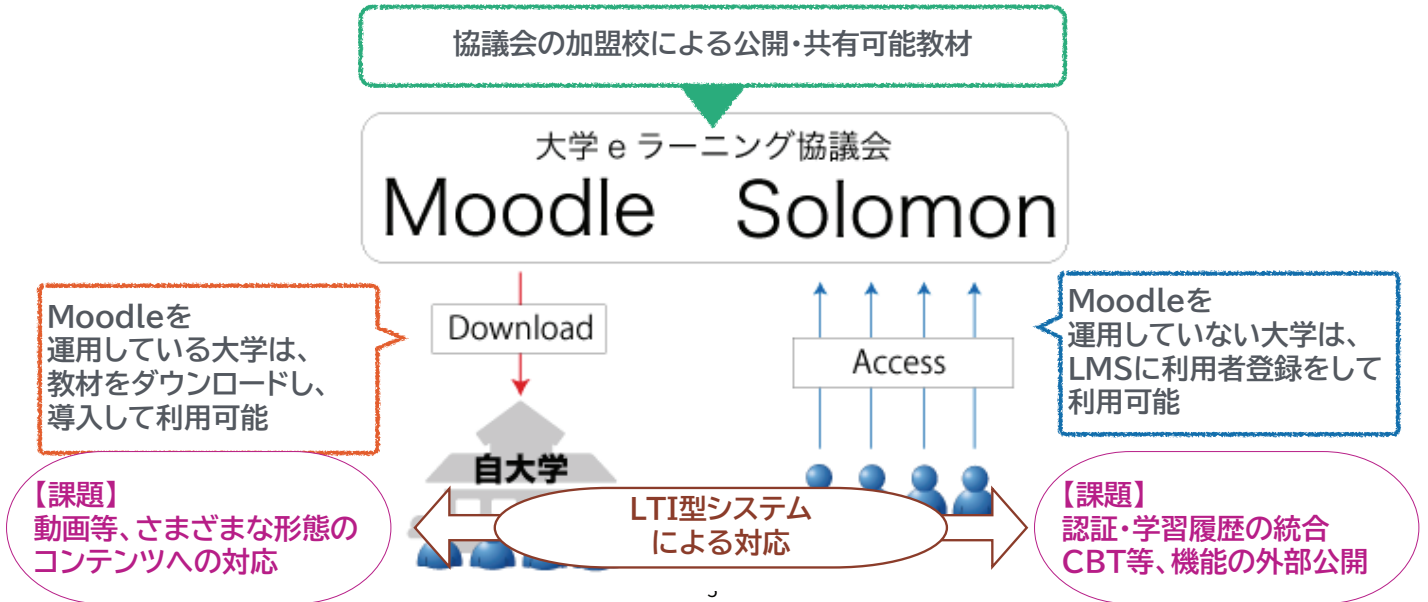
⇒ 利用検討のために、利用申し込み前に試用期間を設けることができます（1年間）

詳しくはUeLAホームページの「共通基盤教育」をご覧ください。事務局までお問合せください。加盟前の試用が可能か、等につきましてもご相談ください

4

共通基盤教育

大学の入学前後や初年次の基礎教育部分にむけて、
各高等教育機関のeラーニング用教材やシステムを共同利用できるようにする狙い
演習コンテンツを中心に提供（一部、解説コンテンツを付随）

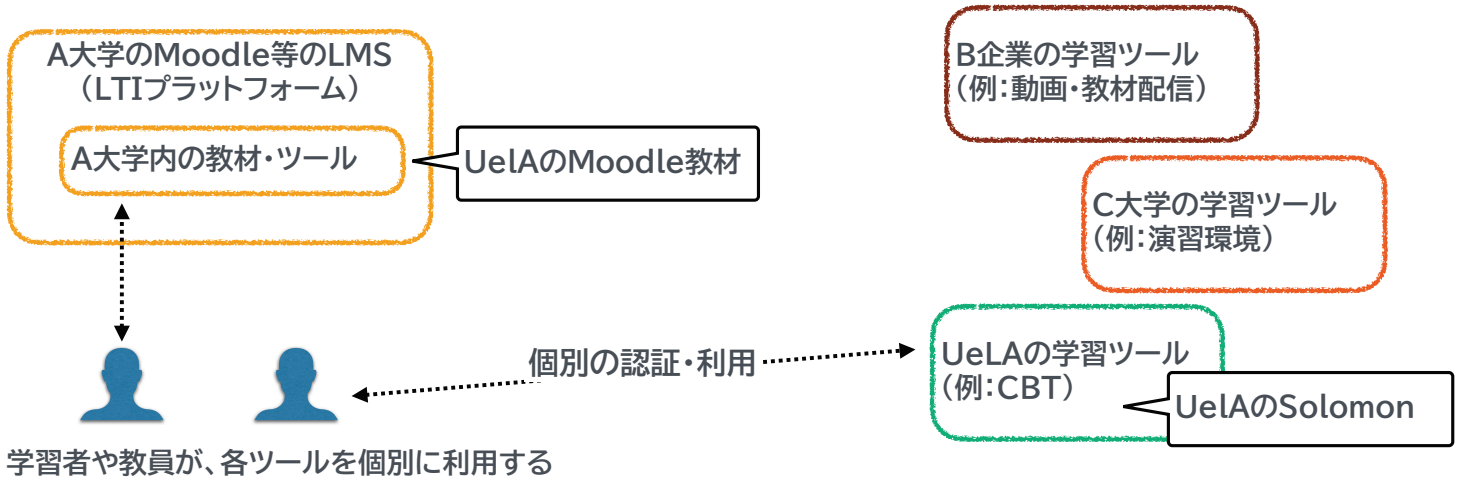


LTI

Learning Tools Interoperability

についての簡単な紹介

従来の教材・学習ツールの利用

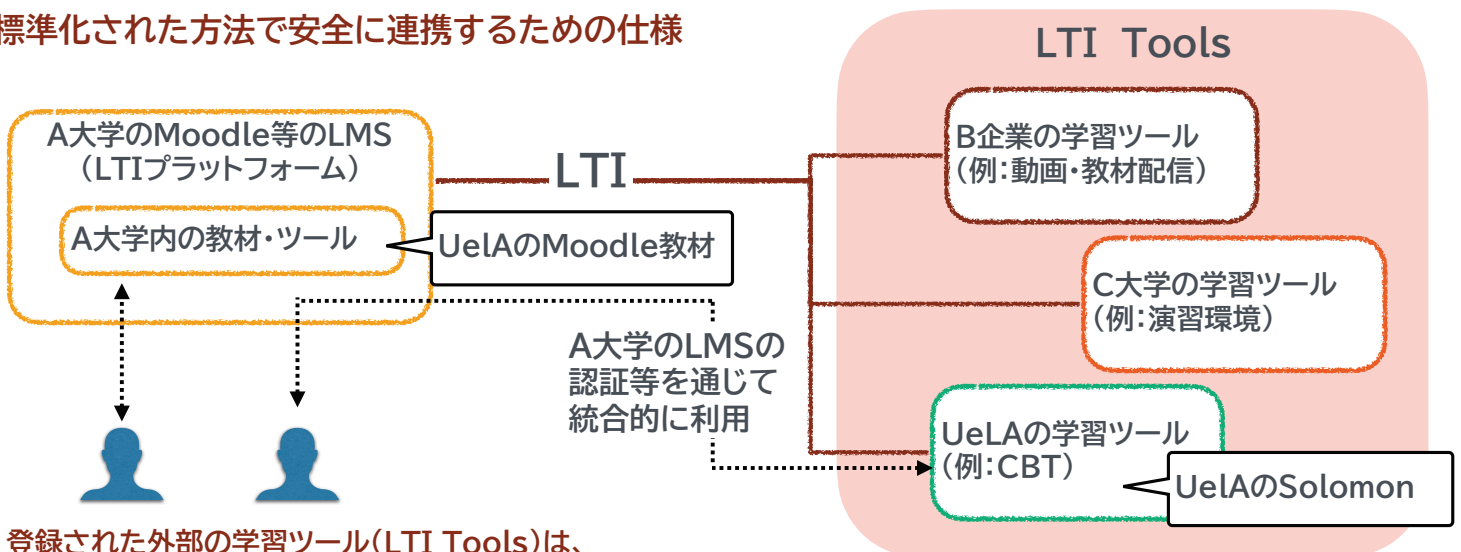


教育機関側が、事前にユーザー登録等の手配や、学習記録の手動での集約などを行う必要がある

7

LTI (Learning Tools Interoperability) の利用

学習プラットフォーム (Moodle等) と外部の学習ツールや教材を標準化された方法で安全に連携するための仕様



※Google Workspace LTI™ 等をはじめ、商用でのLTI Toolsの展開なども始まっている

8

LTIの代表的な機能 (LTI Core, Advantage)

LTI Core :

OpenID Connect をベースに、LTIツールの利用に必要なユーザ識別情報やLTIツールを使うコース情報等を安全にLTIツールとやりとりする

LTI Advantage :

NRPS (Names and Roles Provisioning Services)

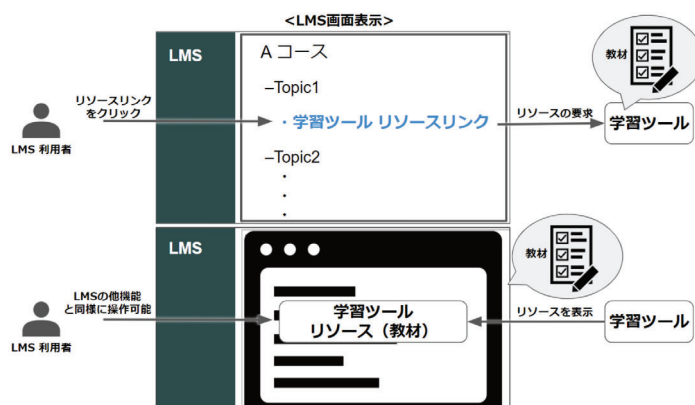
動作に必要なユーザー名や権限情報をLTIツールに提供する

AGS (Assignment and Grade Services)

LTIツールでの学習結果をLMS側に反映する

DL (Deep Linking)

LTIツール内の個別の教材や設定を提供する



より詳しくは... <https://www.1edtechjapan.org/post/1jc2023> などの解説が参考になります

LTIの利用事例 紹介

LTIの事例紹介

大阪教育大学 理数情報教育系 堀 真寿美 先生

- ・ LTIによる動画配信とその活用事例

信州大学 e-Learningセンター 新村 正明 先生

- ・ LTIの応用的な活用事例

公立千歳科学技術大学 情報システム工学科 山川

- ・ SoLomonのCBT（形成的テスト機能）のLTIツール化と、UeLAへの提供（時間があれば体験）

11

OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY

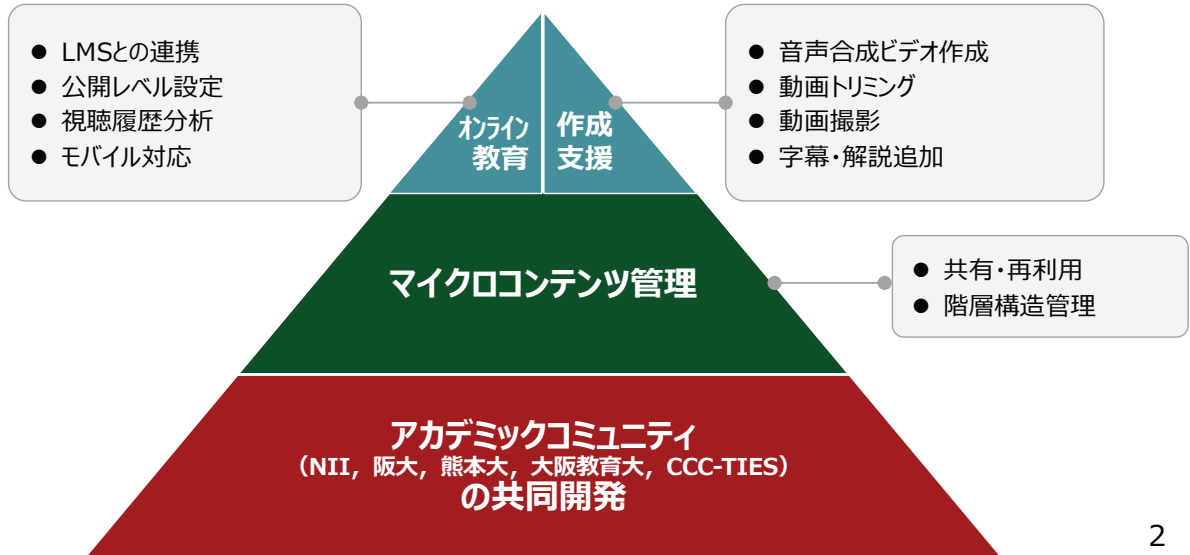
UeLAフォーラム2025 事例報告I 第二部会

CHiBi-CHiLOと デジタルバッジを用いた 学部教育と卒業後教育の接続

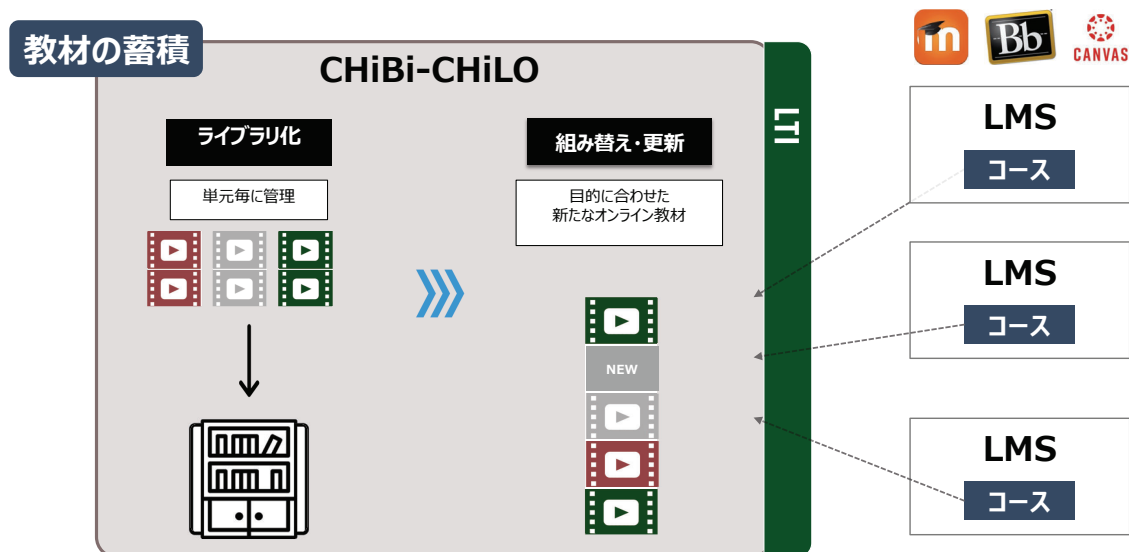
大阪教育大学／NPO法人コンソーシアムTIES附置研究所

堀真寿美

マイクロコンテンツ管理システム CHiBi-CHiLO



マイクロコンテンツライブラリ



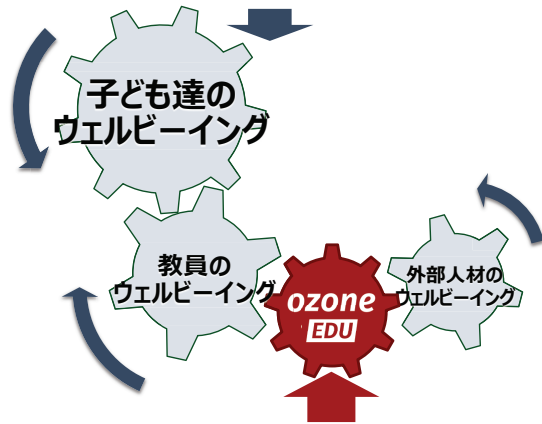
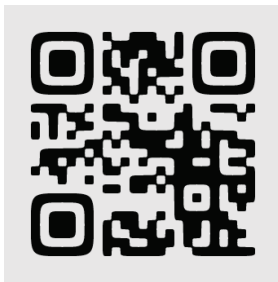
学部教育と卒業後教育の接続

現役教員	社会の状況
教員の疲弊と教員不足	急速に変化する社会

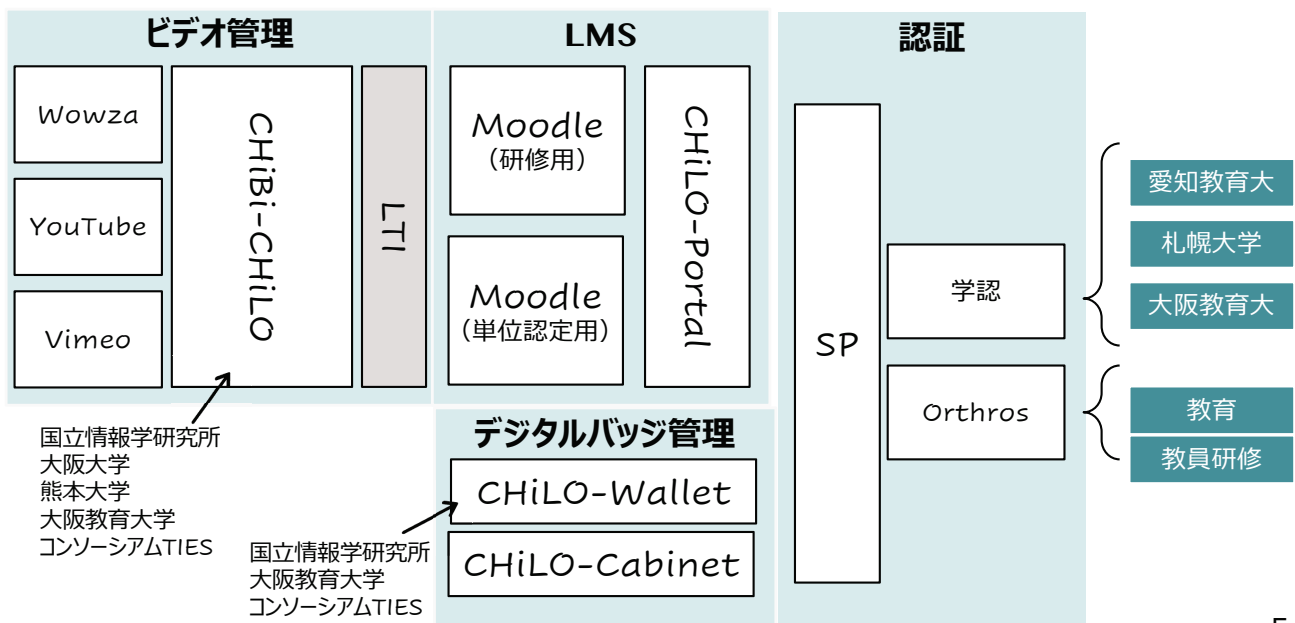


O3 : open, online, opportunity

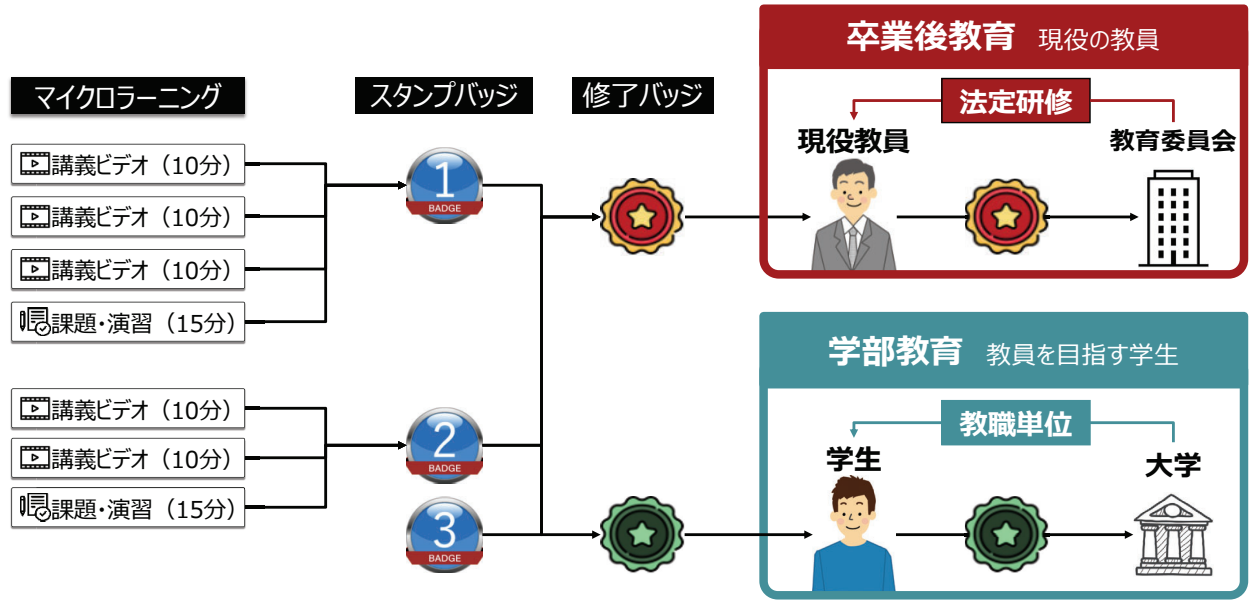
<https://o3edu.osaka-kyoiku.ac.jp>



システム構成



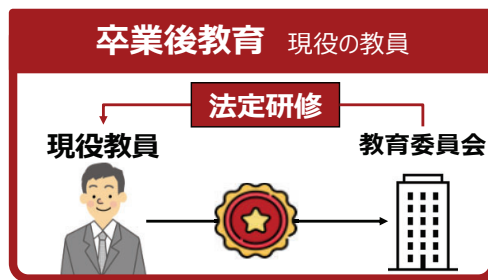
CHiBi-CHiLOとデジタルバッジを組みあわせる



© 2024 Osaka Kyoiku University

現役教員の教員研修

大阪教育大学
愛知教育大学
の連携事業



都道府県教委等の研修

- 法定研修
- ・ 初任者研修
 - ・ 中堅教諭等資質向上研修
- 教職経験に応じた研修
- ・ 2年次研修
 - ・ 3年次研修
 - ・ 5年経験者研修
- 職能に応じた研修
- ・ 新任研究主任研修
 - ・ 新任教務主任研修
 - ・ 教頭・副校長・校長研修

受講登録者数

10,000 名超!

(2025年9月時点)

提供科目数

88 科目

(2025年8月時点)

利用自治体数

6 教育委員会

(2025年7月時点)

受講者満足度

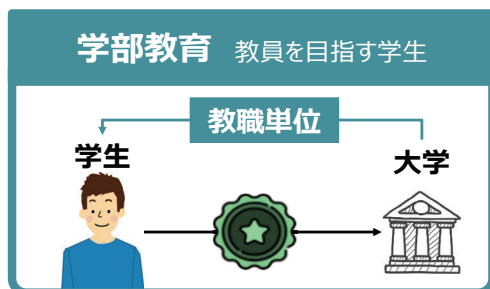
93.2 %

(2024年3月時点)

© 2024 Osaka Kyoiku University

教員を目指す学生の教育課程の単位認定

令和8年度より
札幌大学と開始



課程認定は必要だが
教員の配置等は不要

大阪教育大学



教員免許取得に必要な単位

- 教科と指導法に関する科目
- 教育の基礎的理解に関する科目
- 道徳、総合的な学習の時間等の指導法
び生徒指導、教育相談等に関する科目
- 教育実践に関する科目
- 大学が独自設定する科目

連携大学



「GakuNin of the Year 2024」を受賞！



独自の認証基盤を構築せず、公的かつ中立的な学認とOrthrosを活用し、信頼性と拡張性の両立を実現した
点が高く評価されました。将来的な大学間連携や他機関との協働にも対応できる柔軟な基盤を確保していま
す。

1EdTech Japan 最優秀賞 日本e-Learning大賞 専門人材育成特別部門賞 受賞！

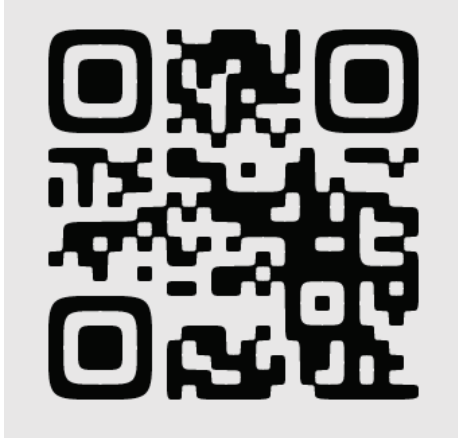


評価ポイント：1EdTech Japan賞

- LTI1.3やOpen Badge 2.1 などの複数の技術標準の活用
- 動画配信システムと複数のLMS間で教材を相互活用している点

OZONE-EDU

<https://o3edu.osaka-kyoiku.ac.jp>



トップ > コースを探す

コースを探す

📖 マニュアル

🏠 すべてのコース

🏢 コース提供者

- 大阪教育大学
- 愛知教育大学
- 藤井寺市教育委員会
- 枚方市教育委員会

📁 カテゴリ

- 授業づくり
- 教科等指導力
- 子ども・人理解
- 教員としての基本的資質
- 協働
- 人材の育成
- 現代的課題

📌 教員育成指標

すべてのコース



Society5.0時代の学校情報化 (v1.0)

スタンプ2 由 大阪教育大学 授業づくり



GIGAスクール時代のICT活用入門 (v1.0)

スタンプ7 由 大阪教育大学 授業づくり



主体的・対話的で深い学び (v1.0)

スタンプ4 由 大阪教育大学 授業づくり



体育授業と子供の健康 (v1.0)

スタンプ4 由 大阪教育大学 教科等指導力



安全の視点からの保健体育授業 (v1.0)

スタンプ5 由 大阪教育大学 教科等指導力




ozone EDU | トップページ | ダッシュボード | サイト管理 | パスワード | 検索 | 編集モード

コース | 設定 | 参加者 | 評価 | レポート | さらに

Society5.0時代の学校情報化

概要

 Society5.0時代とはどのようなものかについて理解し、学校における情報環境の変化、これら求められる子どもの資質・能力や、授業について考えていただきます。 Version 1.0

担当：寺嶋浩介


能力バッジを獲得できませんが大丈夫ですか？
能力バッジの発行を申請するには、「登録キー」を入力して受講登録し直す必要があります。 [詳しくはこちら](#)

✉ 事務局への問い合わせ

📄 受講履歴がアンケート [\(回答すると数値が表示されます\)](#)


1. Society5.0時代の社会と学校

Society5.0の概要を知ることができます。




2. 子どもに求められる資質・能力と授業

学習の基礎となる資質・能力の意義や定義を知ることができます。




3. 最終課題

知識・技能を全て取得すると、最終課題にチャレンジできます。




能力バッジ発行申請

能力バッジの発行申請を行うことができます。



4. 講義ノート (参考)

本コースのビデオで利用した資料



© 2024 Osaka Kyoiku University

ozone EDU トップ ダッシュボード サイト管理 パッケージレット


コース 設定 通知 評価 レポート さらに

Society5.0時代の学校情報化

コースに戻る 次に

1. Society5.0時代の社会と学校

Society5.0の概要を説明することができます。



- 1 はじめに
- 2 Society5.0とはどのような社会なのか
- 3 特物の意見から考えるSociety5.0
- 4 Society5.0の背景
- 5 学習環境の変化
- 6 まとめ
- 振り返り課題
- AOI知識バッジを獲得する

ozone EDU あなたのダッシュボード コースを探す コース提供者

4. Society5.0の背景

戻る

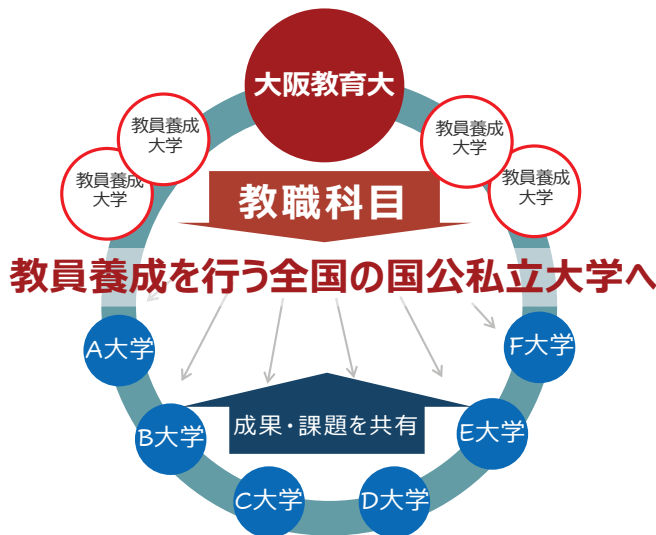
- 1 Society5.0とその背景を知る 35秒
- 2 社会の変化 57秒
- 3 Society 5.0 1分 7秒
- 4 背景：人口減少社会 1分 33秒
- 5 考えていったほうがよさそうなこと 1分 19秒
- 6 目指す未来社会像 Society 5.0 53秒
- 7 ICTの活用が不可欠 1分 13秒

社会の変化

一つ目は、社会の変化です。ビデオからも大体わかっていただけますが、なぜSociety 5.0と言っているのかということがこの図にまとまっています。いわゆるアプリだとかソフトウェアとかにあるような、バージョンの数字のようなことをイメージしています。社会のバージョンですね。1.0は狩猟社会から2.0は農耕社会へって、というように、いま5.0の時代がやってきているというようなイメージが示されています。引用をご覧になっていただければわかるように、これは文部科学省ではなくて、内閣府が言っています。教育の場面でこう変わりますと言われていただけではなくて、社会全体が変わってきていると言われていることに着目する必要があると思います。

大阪教育大学の挑戦¹⁶

教職課程の連携モデル



- ✓ 連携大学の拡大
- ✓ デジタルバッジの価値向上
- ✓ オンライン授業の質向上
→実践系科目のオンライン化

大阪教育大学は挑戦を続けます！

16

© 2024 Osaka Kyoiku University

SHINSHU UNIVERSITY



UD
FONT
by MORISAWA

LTIによるLMSの機能拡張
= 信州大学の活用事例 =

信州大学 e-Learningセンター

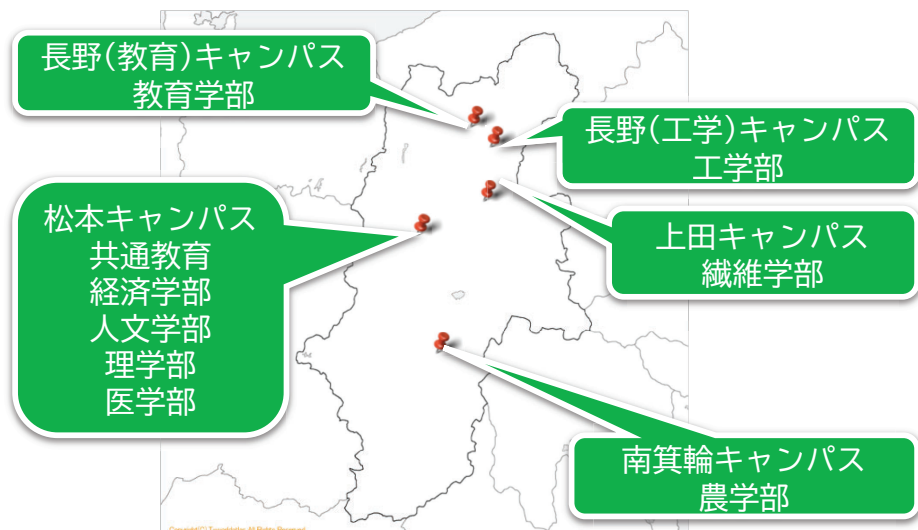
新村 正明

信州大学の概要

- 設立 昭和24年 5月31日
- 8学部からなる典型的な地方大学
 - 人文学部 教育学部 経済学部 理学部
 - 医学部 工学部 農学部 繊維学部

信州大学の概要

- 8学部構成
 - 拠点が長野県内4ヶ所に分散
 - 1年生は松本（共通教育） 2年生から分散



信州大学の LMS 運用

- 2008年度より全学規模で Moodle を導入
 - Blackboard からの移行
- 学部毎・年度毎に別々のサイトを用意
 - 学部間で LMS に対する要望が異なる
 - 学年暦も異なる場合がある
 - 過去 3年分を公開



eALPS

– e Advanced Learning Platform
in Shinshu University



Webによる学習サービスの必要性

- 教育機関における BYOD の普及
 - 学生が個人所有の端末を持参する
- 問題点
 - 各自の端末の種類が異なる場合がある
 - 個人で購入した端末
 - 学部／学科単位で購入：仕様が異なる
- 学習環境の統一が困難

Webによる学習サービスの必要性

- 学習環境の統一が困難 の解決方法

- **学習環境のWeb化**

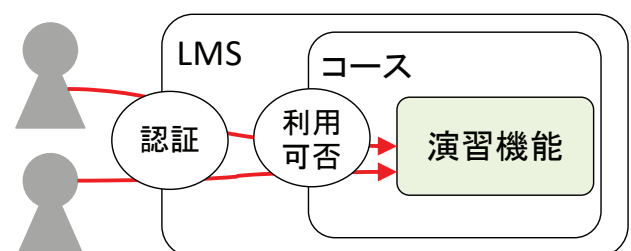
- 教材閲覧 → LMS(Web)
- 演習 → 演習システムのWeb化
 - Webサイト構築演習
 - プログラミング言語の演習
 - ネットワーク構築演習

- 安留誠吾: Webプログラミング演習における学習進捗把握, 教育システム情報学会全国大会講演論文集, vol. 39, pp. 257-258, 2014.
- 加藤利康, 石川孝: プログラミング演習のための授業支援システムにおける学習状況把握機能の実現, 情報処理学会論文誌, 55(8), pp. 1918-1930, 2014-08.
- 大岡義旺, 立岩佑一郎, 高橋 直久: 仮想マシンを用いたネットワーク協働構築演習システムの開発, 電子情報通信学会技術研究報告, 116(484), pp. 223-228, 2017-03-02.

演習環境Web化の問題点

- 本来の目的以外の機能が必要
 - LMSとの比較
 - **認証**: 利用者の特定
 - **サービス利用可否**: 利用する権利の確認
 - **マルチユーザ化**
 - 学習者の状態の管理
 - 状態に応じた演習進行

本来の目的以外の
開発コストが大きい

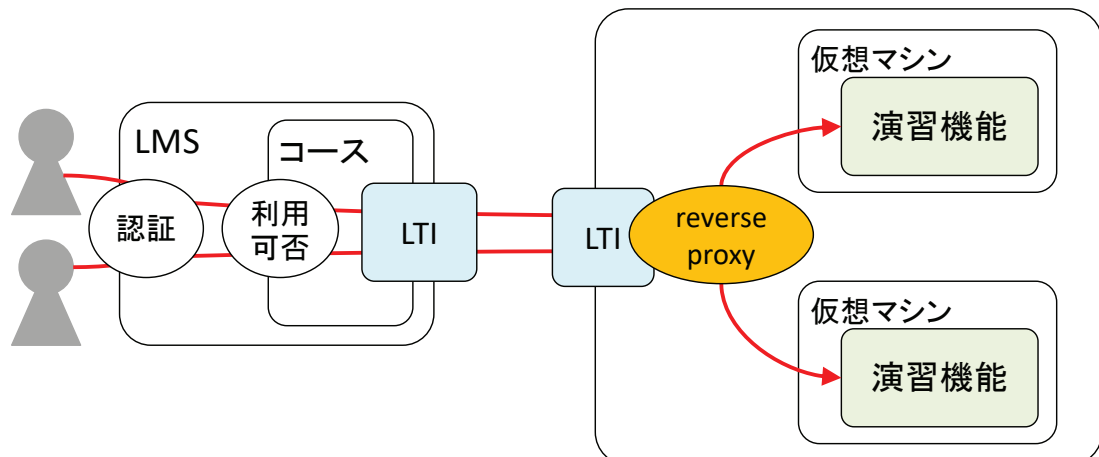


信州大学における利用事例

- 便利なオープンソースのWebシステムを使いたい
 - CodeServer
 - Visual Source Code の Webサービス版
 - エディタとターミナルがセット
 - PHP My Admin
 - Webから任意のデータベース操作が可能
 - Jupyter Notebook
 - Web から Python の記述・実行が可能
 - 講義ノートとして配布が可能
 - Google が Google Colab としてサービス提供

信州大学における利用事例

- eALPlus
 - LTI連携リバースプロキシ
 - 任意の Webサービスを LTI サービスにみせかける



信州大学における利用事例

- ERS(Extensive Reading System)
 - 多読教育の支援システム
 - 読書履歴の管理

022 共通教育 日本語 (JA) ▾

コース / アカデミック・イングリッシュ・フェイズII(B)(上級)/共通...

クメール
メールを作成する
表示する
表示する

SHINtube 動画アップロード
学生から秘匿
アナウンスメント
ERS4 - Click here when you start or finish a book

If you have problems with the ERS (the ER book online registry) please email to:
ers@shinshu-u.ac.jp
If you need to contact your teacher email here:
michael@shinshu-u.ac.jp

新村 正明's "ER Tree."

Now Reading
Phantom of the Opera, The
Finished Delete

Reading Stats
55550 words.
17 books.
12 hours 20 minutes.
Last submitted 2023-01-13.
Books Read

Search Books
Search by Title
Search

eALPS 信州大学e-Learningセンター 2026/03/04 UeLA フォーラム 2025 9/25

信州大学における利用事例

- eALPlus
 - LTI連携リバープロキシ
 - 任意の Webサービスを LTI サービスにみせかける

```
EXPLORER ... C test.c M X test U
WORKSPACE
test U
C test.c M
C test.c
1 #include <stdio.h>
2
3 int main(void) {
4     printf("Hello World !\n");
5
6     return 0;
7 }
PROBLEMS OUTPUT TERMINAL DEBUG CONSOLE bash + v
codere@e70f2f878bae:/workspace$ make test
cc test.c -o test
codere@e70f2f878bae:/workspace$ ./test
Hello World !
codere@e70f2f878bae:/workspace$
```

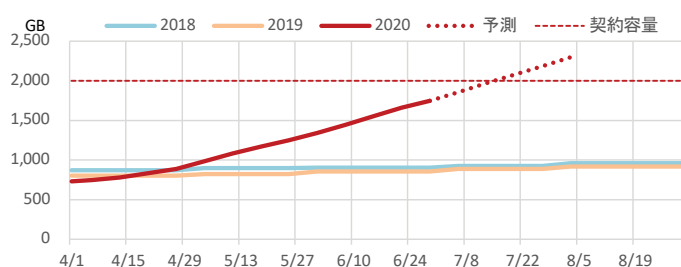
master* 0 0 Run on Save done. Ln 5, Col 1 Spaces: 4 UTF-8 LF C Layout: U.S.

信州大学の動画配信の変遷

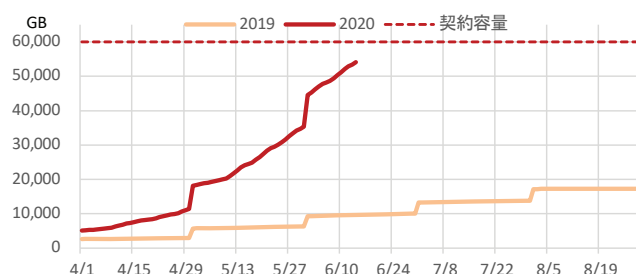
- 2015 頃～ Mediasite オンプレサーバ
– 設備老朽化&更新費用の捻出が困難
- 2018 ～ Kalturaクラウドサービスを契約

コロナ禍におけるLMS利用

- オンライン化で動画利用が急増



Moodle ファイル使用量



Kaltura 使用量

- 動画ファイルを Moodle へ
→ ディスク容量を圧迫
→ ダウンロード時に高負荷
- 動画配信サーバ(Kaltura)へ誘導
→ 契約容量超過の恐れ

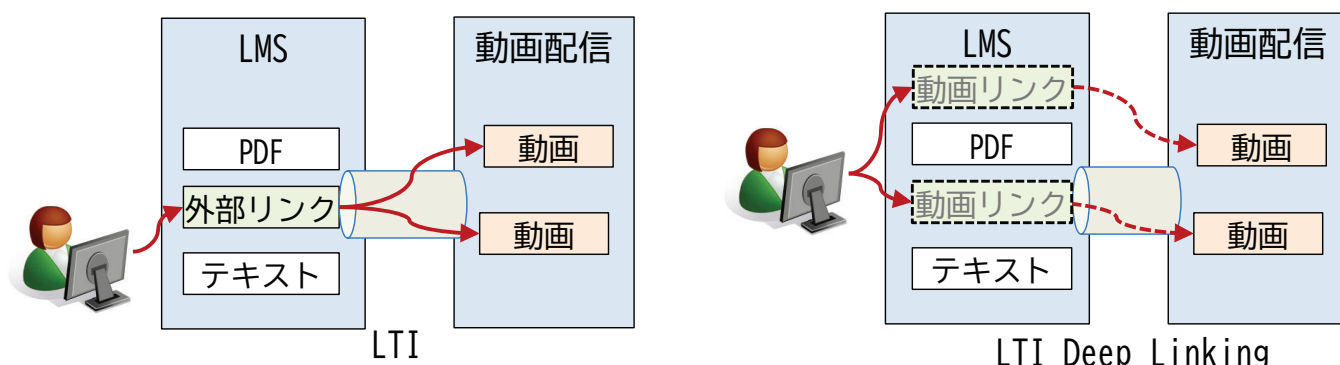
– Google Drive への動画掲載 に移行

信州大学の動画配信の変遷

- 2015 頃～ Mediasite オンプレサーバ
 - 設備老朽化&更新費用の捻出が困難
- 2018 ～ Kalturaクラウドサービスを契約
- 2020 ～ Google Drive を併用
 - Google Drive に動画ファイルを掲載
 - アップロードとリンク掲載を支援
- 2022 ～ 動画配信サービスを独自開発

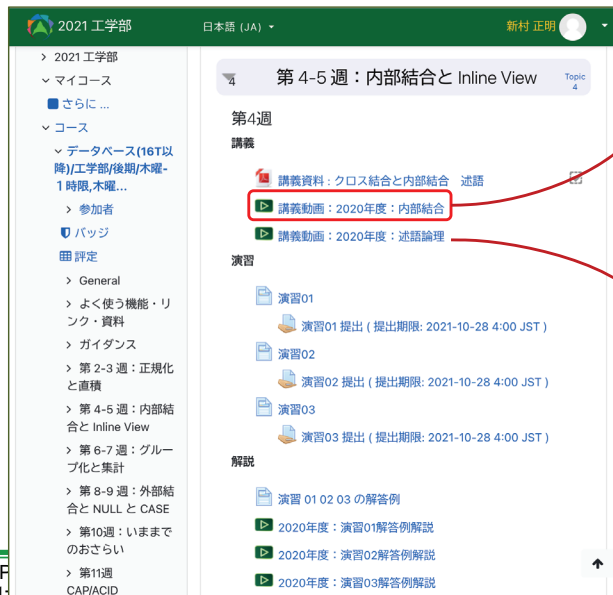
LTI Deep Linking

- 外部サービス内のコンテンツに直接アクセス
 - コンテンツがLMS上のリソースと同じ扱いになる
 - 表示・非表示制御
 - 利用制限制御
- 動画を見たら小テストの受験が可能に など



信州大学における利用事例

- SHINtube
 - 動画配信サービス
 - LTI Deep Linking に対応



まとめ

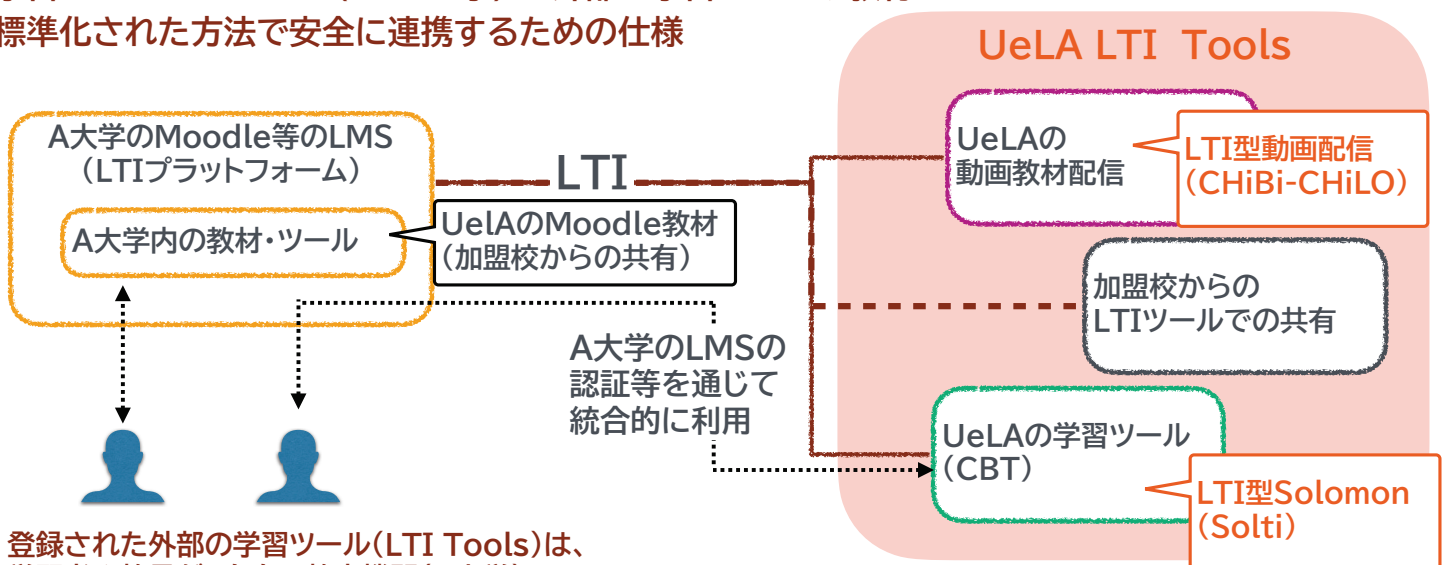
- LTIによるLMSの機能拡張
 - LMSにない機能を使いたい
 - 詳細な学修行動履歴の収集
- 機能拡張方法
 - LTI連携機能を有するサービスの開発
 - eALPlus
 - LTI機能をもつ専用サービスの開発
 - ERS SHINtube

SolomonのCBT（形成的テスト機能）の LTIツール化と、UeLAへの提供

12

UeLAによるLTIの利用

学習プラットフォーム（Moodle等）と外部の学習ツールや教材を
標準化された方法で安全に連携するための仕様



登録された外部の学習ツール(LTI Tools)は、
学習者や教員が、自身の教育機関(A大学)の
LMSの機能の一部のように、利用できる
学習履歴等も記録される

※Google Workspace LTI™ 等をはじめ、
商用でのLTI Toolsの展開なども始まっている

13

Solti (α 版) のリリース

Solomonに搭載されている形成的テスト (Computer Adapting Testing) 機能を LTI ツールとして利用可能としたもの*1

Moodle を例にすると...

1. 管理者が、Moodle に Solti を登録する
2. 教員は、コースに数学や情報単元の形成的テスト*2を設定できる
3. 学生は、Moodle から設定された形成的テストに取り組むことができる
 - ⇒ アカウントは Moodle の認証情報を利用する：NRGS ... Solti 側のアカウント登録等は不要
 - ⇒ 取り組み結果は、Moodle 上に記録される：AGS

*1 R7 年度の活動として、希望校 (α 版パイロット校) を募集します
(動作確認環境 Moodle LTS バージョン)

*2 当面のテスト可能科目は、開発元から提供可能な範囲に限ります (要相談)
将来的には、各教育機関が自由にテスト教材を登録できるように構想しています

14

UeLA による LTI ツールの展開について

17

共通基盤のLTI型への展開を目指して

Moodle用小テスト（従来）

⇒ 各教育機関が最も共有しやすい形 引き続き、教材共有のお申し出をお待ちしています 🤖

UeLA-Solomon（従来）

⇒ Moodleが導入されていない環境・入学前などに活用
システムの老朽化も進んでおり、利用校とも調整しつつ段階的なSoltiへの移行を検討

LTI：CHiBi-CHiLO（2026年4月 利用開始）

⇒ 動画教材の共通基盤（※ Youtube等で配信されている教材のパッケージ化）
こちらも、動画教材共有・利用のお申し出をお待ちしています 🤖

LTI：Solti（2026年度4月 a版として希望によるパイロット校への利用開始）

⇒ 形成的テストの利用
上記も踏まえ、学習機能、教材の取りこみ機能も今後検討

LTI型システムの利用に関しては
UeLA事務局、
もしくは 共通基盤窓口
✉ kiban@ucla.jp まで
お問い合わせください

信州大学工学部工学科

FACULTY OF ENGINEERING
SHINSHU UNIVERSITY

1+9



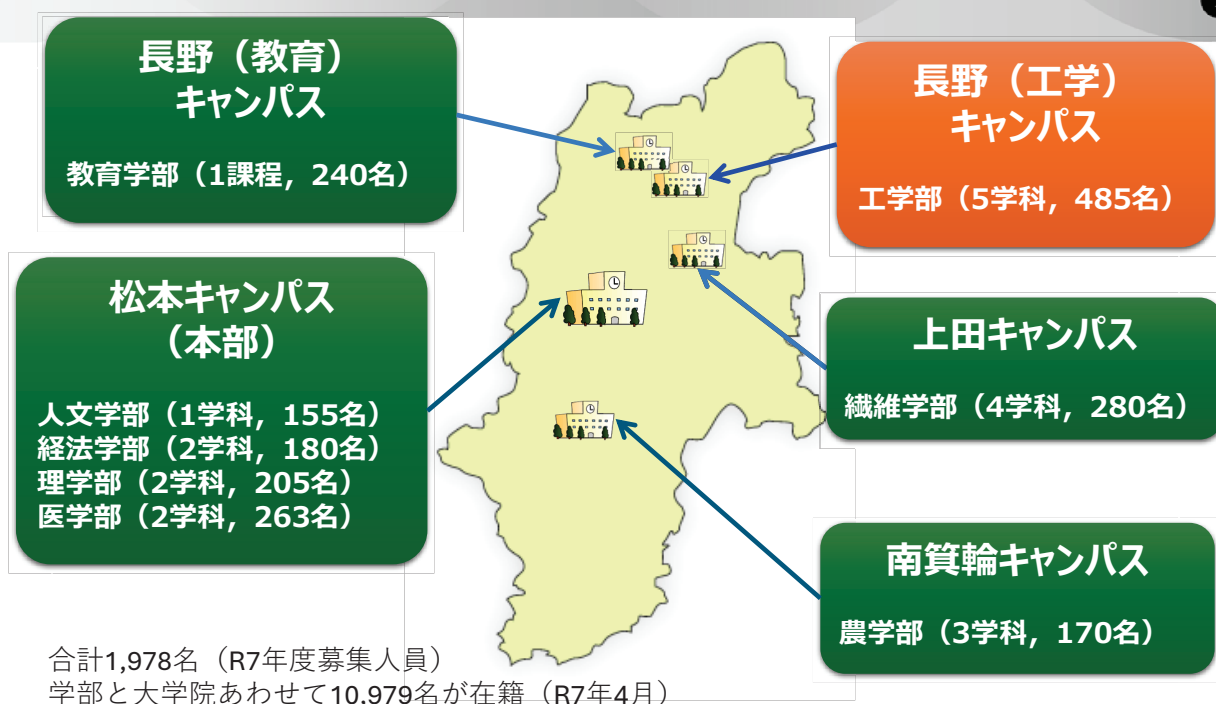
「1+9」の工学部, 始まる!

-地域と共に、学びも大学も育つ時代へ-

香山瑞恵

信州大学 | 工学部 信州大学 工学部長・副学長

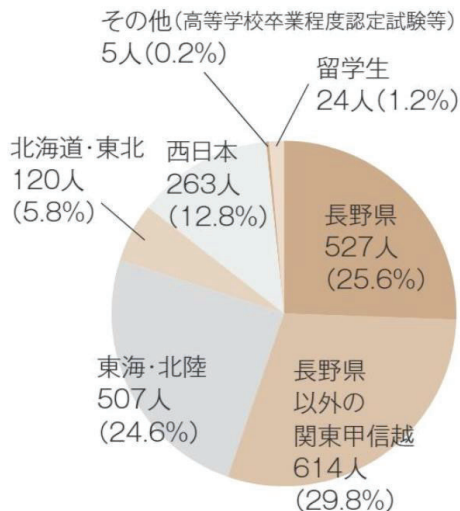
■信州大学は8学部 of 総合大学



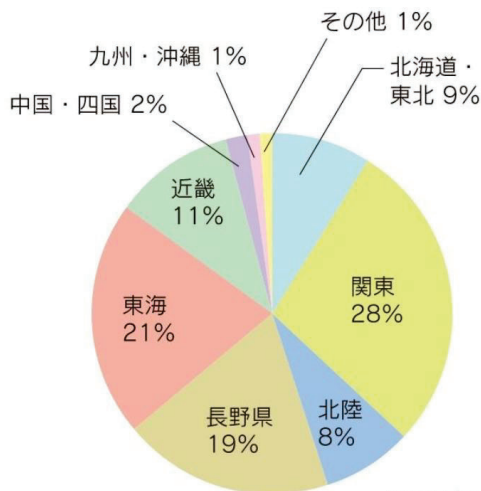
■ 入学者の出身地



信州大学 (2024入学生)



工学部 (2024入学生)



信州大学 工学部 は5学科→1学科 (10コース) へ



物質化学科

Chemistry and Materials Engineering

電子情報システム工学科

Electrical and Computer Engineering

水環境・土木工学科

Water Environment and Civil Engineering

機械システム工学科

Mechanical Systems Engineering

建築学科

Architecture



工学科

先鋭融合コース

先鋭融合コース

基幹9コース

化学・土木
電気・機械
情報

応用化学コース
環境・エネルギー材料コース
水環境・土木コース

電気電子コース
機械物理コース
知能機械コース

建築学コース

情報サイエンスコース
情報デザインコース

工学部 改組のポイント



1. π 型人材(複数の専門)の育成 = 社会の期待に応える人材の育成

複数の専門を意識した学びを実践し、 π 型人材を目指したい = **先鋭融合コース**

2. I型人材(専門性の深堀)の育成 = I型人材も依然として社会ニーズあり

まずは一つの専門に集中し、I型人材を目指したい = **基幹9コース**

(一つの専門を極め、その先に π 型人材を目指す)

3. 専門の満足度100%を目指す工学部 = 入学後に後悔ゼロへ、ミスマッチを無くそう

先鋭融合コース: 教員のサポートによって、適したメジャー/サブメジャーを選ぶ

基幹コース: 充実したコース科目の提供 さらに、近い分野の専門科目は履修が容易

令和8 (2026) 年度 5学科 から 1学科・10コース



現・工学部
5学科 (137°枠) 定員 (485名)

	定員	プログラム
物質化学科	95	先進材料工学
		分子工学
		バイオ・プロセス工学
電子情報システム工学科	170	電気電子
		通信システム
		情報システム
水環境・土木工学科	60	水環境
		土木
機械システム工学科	100	環境機械
		機械物理
		精密知能機械
建築学科	60	建築学
		工芸デザイン



新・工学部 工学科
1学科10コース 定員 485

先鋭融合コース	
先鋭融合コース	[20]
基幹9コース	
応用化学コース	[50]
環境・エネルギー材料コース	[50]
水環境・土木コース	[50]
電気電子コース	[55]
機械物理コース	[55]
知能機械コース	[40]
建築学コース	[55]
情報サイエンスコース	[55]
情報デザインコース	[55]

【 】 募集人員の目安

なぜ π 型人材？工学分野ごとの思考方法が違う

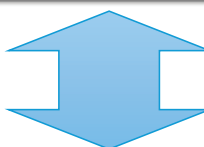


専門分野によって、物事を考える思考プロセスが異なります

システム科学系分野(情報サイエンス、情報デザイン、知能機械、建築)

計算機科学やロボット工学、建築学などでは、新規の人工的な装置や方法論によって、これまで存在しなかったシステムなどを全く新しい発想で作り出すことで社会貢献を目指します
反面、物理現象などの理解ができないと問題の本質を見失う可能性が有ります

π 型人材



考える課題に応じて、両方の思考パターンで考えることができれば、視野を広く、柔軟に考えることができます

自然科学系分野(応用化学、環境工ネ材料、水環境土木、電気電子、機械物理)

物理現象や化学現象など、自然原理のより深い理解に基づいて新たな発見を目指します
反面、数理DSなどの計算機科学を活用しないと、発展的な研究に繋がらない場合が有ります

入学前に異なる思考法も訓練！



- 数学 (I A II B III C)
⇒ UeLA 共通基盤教材
- 理科 (化学・物理)
⇒ 千歳科学技術大学教材 [共同研究]

8大学連携(振り返り)

公立千歳科学技術大学
工学部 情報システム工学科
小松川浩

hiroshi@photon.chitose.ac.jp



平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」
学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進



主体的な学修を各大学で実施するための 共通基盤の整備・ノウハウの共有

-数学・英語・日本語・情報等の
共通の到達度テストの構築・実施(知識定着)-

-その上での主体的な学びを支援する
学修プログラムの構築・実施(知識活用)-

国立・私立連携
理系・文系連携
四大・短大連携

作成したプレイスメントテスト・到達度テストの仕様

プレイスメントテスト(入学直後)		到達度テスト(入学後1年後想定)
数学①	理系を対象。数学IIIを含む。40分	工学部の解析・代数を含む
数学②	文理を想定。数学IIの微積分を含む。30分。	数学III程度を網羅
数学③	文系を対象。中学から数学I程度。30分。	数学II程度と数的思考を含む
日本語	語彙・文章読解。30分。	プレイスメントテストの内容の難易度上昇
英語①	文法。読解。30分。	文法。読解。30分。
英語②	7段階で設定(TOEICを意識)	7段階で設定(TOEICを意識)
情報	高校全般の情報の知識理解。20分。自分が知らないものについては、【分からない】という項目設置	プレイスメントテストと同じ。「分からない」項目の変化を見る。

学修観(学ぶ姿勢・態度に関する調査)

【学習動機】(市川伸一教授による)

学習動機とは、何故勉強するのかという内的・外的要因の特性を表し、以下の6つの項目から構成されている。

訓練志向	頭や知力を鍛えようとの思いから学ぼうとしている
実用志向	生活や将来の仕事に活かそうとの思いから学ぼうとしている
関係志向	学びにおいて、友達、先生、親などの周りの人との関係を来にしている
自尊志向	自分のプライドや他者と競う思いから学ぼうとしている
報酬志向	将来の生活/経済的によい生活をするために学ぼうとしている
充実志向	勉強することやわかることの楽しさから学ぼうとしている

81の質問紙を通じて調査

84.なぜ、そうなるのかはあまり考えず、暗記してしまうことが多い。

2.自分の感情をコントロールできる方だ

5.動揺しても、自分を落ち着かせることができる

- ・市川伸一 編：“認知カウンセリングから見た学習方法の相談と指導”，ブレーン出版(1998)
- ・小塩真司，中谷素之，金子一史，長峰伸治：“ネガティブな出来事からの立ち直りを導く心理的特性—精神的回復力尺度の作成—”，カウンセリング研究，Vol.35，No.1，pp.57-65(2002)

科目	概要	種別	単元	教材数	監修(主幹)
情報	高校情報	演習	情報活用の実践力	67	千歳科学技術大学
			情報の科学的な理解	77	
			情報社会に参画する態度	65	
			合計	209	
数学	基礎数学	演習	基礎数学	27	創価大学
	中学数学	解説	中学1年	105	千歳科学技術大学
			中学2年	105	
			中学3年	106	
			合計	316	
	中学数学	演習	中学1年	382	千歳科学技術大学
			中学2年	308	
			中学3年	302	
			合計	992	
	高校数学	解説	高校1年	189	千歳科学技術大学
			高校2年	314	
			高校3年	128	
			高校(その他)	45	
	合計	676			
高校数学	演習	高校1年	661	千歳科学技術大学	
		高校2年	786		
		高校3年	377		
		高校(その他)	62		
合計	1886				
微分積分(理系向)	解説	微分積分(理系向)	21	山梨大学	
微分積分(理系向)	演習	微分積分(理系向)	173	山梨大学	
微分積分	演習	微分積分	48	山梨大学	
線形代数学	解説	線形代数学	17	山梨大学	
統計学	解説	統計学	10	山梨大学	
数理統計	解説	数理統計	16	山梨大学	
データ解析的統計	解説	データ解析的統計(電子書籍)	10	山梨大学	

日本語	言語能力	演習	漢字書き	200	愛知大学	
			語義	200		
			四字熟語	200		
			ことわざ・成句	200		
			漢字読み	200		
			表記・文法・敬語	200		
			短文読解	40		
			日本語検定に挑戦!: 漢字書きI~III	60		
			日本語検定に挑戦!: 語義I~III	60		
			日本語検定に挑戦!: 四字熟語I~III	60		
			日本語検定に挑戦!: ことわざ・成句I~III	60		
			日本語検定に挑戦!: 漢字読みI~III	60		
			日本語検定に挑戦!: 表記・文法・敬語I~III	60		
			日本語検定に挑戦!: 単文読解I~II	10		
			日本語検定コラボ: 敬語分野	65		愛媛大学
			日本語検定コラボ: 文法分野	35		
			日本語検定コラボ: 語彙分野	41		
			日本語検定コラボ: 言葉の意味分野	65		
			日本語検定コラボ: 表記分野	92		
			日本語検定コラボ: 漢字分野	41		
			日本語検定コラボ: 文章読解分野	3		
			日本語検定コラボ: 図表読解分野	3		
			日本語検定コラボ: 確認テスト①	70		
日本語検定コラボ: 確認テスト②	70					
合計	2095					

反転で利用するCBT教材紹介（山梨・創価・千歳連携）

第1階層名	第2階層名	第3階層名	第4階層名	レベル	
数理・データサイエンス・AI	統計数理	データの種類	データの種類	データの種類レベル1~7	
		標本調査と実験	標本調査と実験	標本調査と実験レベル1~7	
			四分位数・四分位範囲	四分位数・四分位範囲レベル1~7	
		データの散らばり	分散・標準偏差・変動係数	分散・標準偏差・変動係数レベル1~7	
			箱ひげ図・はずれ値	箱ひげ図・はずれ値レベル1~7	
		確率モデル	確率の基礎	確率の基礎レベル1~7	
			確率変数・確率分布	確率変数・確率分布レベル1~7	
			標本分布	標本分布レベル1~7	
			統計的な推測	推定	推定レベル1~7
				仮説検定	仮説検定レベル1~7

今後、公開予定の情報系教材（CBT）

- C言語
- Java言語
- Python
- アルゴリズム（Python）
- 情報系資格対策（コンピュータサイエンス）

千歳：実践例（大規模クラスでも稼働可能な反転授業）

非同期(例 120名)

予習 CBT
※ レベルを確認しながら、知識定着

個人課題
教員によるビデオを見ながら、できるところまで課題の実施→ GW課題まではチャレンジ

自分のタイミングで
AIテスト
(レベル判定)

自分の意思で
授業選択

同期(Zoom)

GW (1) TA 6名 × 4 = 24名 (30分)

GW (2)

GW (3)

5クール ×
24名 = 120名
5クール(150分)

GW (4)

GW (5)

ベーシッククラス
(非常勤1名)
解説クラス

AIによる
アドバイス

個人課題・振り返り・次週に向けた学び

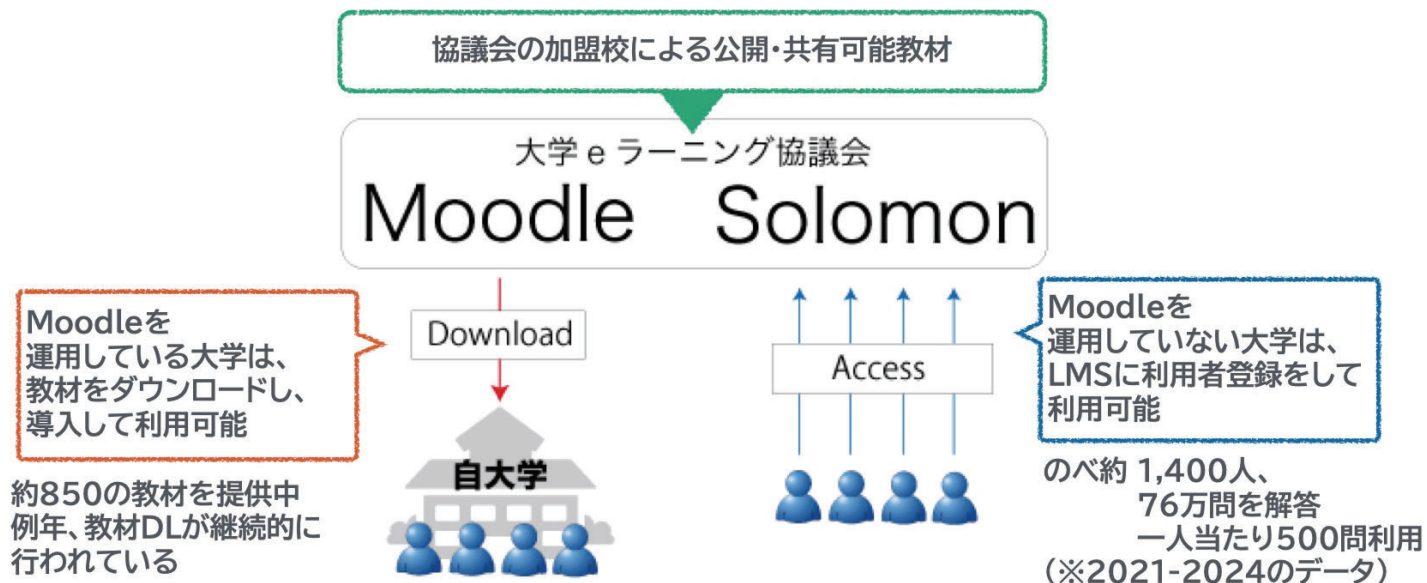
共通基盤教材の整備過程とその概要

公立千歳科学技術大学 情報システム工学科 山川 広人

1

共通基盤教育（32校が利用中）

大学の入学前後や初年次の基礎教育部分にむけて、各高等教育機関のeラーニング用教材やシステムを共同利用できるようにする狙い演習コンテンツを中心に提供（一部、解説コンテンツを付随）



2

共有基盤についてのメニュー

UeLAホームページの右上「共通基盤教育」からご覧ください



eラーニングを活用しよう！

当協会が提供する「共通基盤教育」は、加盟校が制作した基盤教育向けeラーニング教材の共同利用を目的としており、英語、日本語、数学、情報などのリメディアル教材、SPIなどのキャリア支援教材などの全教材を、加盟大学であれば、試験利用期間（1年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間7万円で利用することができます。

eラーニングによるリメディアル教育やキャリア支援教育をご検討されている大学は、是非、ご利用をご検討ください。

3

公開中の教材

Moodle/Solomonの両方に整備(☆はCBT対応)

分野	単元や内容	種別	数
情報	情報工学（情報の基本的理解）	演習	約200問
	プログラミングの考え方・Python文法	演習	約1,000問☆
中学数学	1～3年の基礎的内容	演習	約1,300問
高校数学	1～3年の基礎的内容	解説	約300ページ
		演習	約2,200問
大学数学	微分積分（基礎および理系向け）	解説	約630ページ
		演習	約220問
日本語	漢字読み・書き、語義、ことわざ等	解説	約40ページ
		演習	約950問☆
		演習	55問
英語	レポートの書き方	動画	45本
	リスニングと中学英文法	演習	約1,300問
SPI対策	言語・非言語能力問題	演習	約180問

Moodle/Solomonの両方に整備

(※後述する教材使用料とは別に、著作利用料も必要)

分野	単元や内容	種別	数
英語	マクミランランゲージハウス	演習	約1,700問
	TOEIC対策 PRISM	解説	約180ページ
	TOEIC 300-600		

4

Moodleに整備

(初年次・2年次向け実力チェックテスト)

分野	単元や内容
情報	情報リテラシー（初年次・2年次）
数学	数的指向（文系・短大等むけ）
	理系1（高校数学2Bレベル） 理系2（高校数学3Cレベル）
日本語	初年次 1種類 2年次 2種類（試験時間が異なる）
大学数学	微分積分（基礎および理系向け）
大学英語	初年次 1種類 2年次 2種類（リスニングの有無が異なる）
学習観	学びの意欲を自己診断するアンケート（初年次・2年次共通）

平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」で作成された成果物を活用

※教材数は整備・再編等により変動するため、目安としてご覧ください（2026年1月段階、Solomon上で計測した数）

なぜこれだけの教材が整備されたか？

教育機関の相互扶助の精神や先生方の熱意がベース

最も初期の共通基盤 2011年震災対応Moodle

あなたは現在ゲストとしてログインしています

方程式と不等式 (高校1年)

UeLA ▶ 方程式と不等式 (高校1年)

活動

- SCORM/AICC フォーラム

フォーラムの検索

検索オプション ?

管理

このコースに登録する

コースカテゴリ

- 千歳科学技術大学
- 九州工業大学
- 大手前大学
- 創価大学
- 信州大学
- TIES連携大学
- 熊本大学
- 法政大学
- 電気通信大学
- 北星学園大学
- 札幌医科大学
- 佐賀大学

トピックアウトライン

- ニュースフォーラム

1 整式の性質

- 単項式
- 多項式
- 多項式の加法・減法(同類項をまとめる)
- 整式の性質 (演習)

2 展開公式

- 単項式の乗法
- 多項式の乗法
- 展開公式(復習)
- 展開の公式
- 展開の応用
- 展開の公式 $(a+b)^3$
- 展開の公式 a^3+b^3
- 展開の公式 a^3-b^3
- 展開公式 (演習)

3 因数分解

- 因数分解(共通因数)

最新ニュース
(新しいニュースせん。)

直近イベント
直近のイベント。
カレンダー

最近の活動
2011年 06月
11:56 以
最近の活

震災の直後、
学習基盤等がととなわらない東北地方の教育機関向けに
各大学が教材をSCORMで持ち寄って作成
数学、電気、経営、情報などの一般教養レベル
(一部は、現在の共通基盤のベース)

各大学で提供可能な教材をリストアップ、SCORM等で共有

入力区分	分野・課程		教材			授業科目				
	学問分野	課程種別	教材名	教材種別	ファイル	大学	科目名	教員	対象学年	シラバス
	人文、社会、工学、理学、情報、農学、保健、生活、家政、教育、芸術、その他	リメディアル・初年次教育、一般教養、基礎、専門、大学院	(1回分の教材につける名称、シラバスタイルなど)	教科書、演習問題、参考資料	Flash、HTML、その他					
千歳	工学(数学)	リメディアル	整式の性質	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	展開公式	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	因数分解	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	実数と絶対値	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	平方根の計算	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	1次不等式	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	2次方程式	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	(応用) 整式の性質	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。
千歳	工学(数学)	リメディアル	(応用) 展開公式	教科書、演習問題	Flash	千歳科学技術大学	方程式と不等式(高校1年)	●	全年	高校数学の基本について学習する。

当時のプレスリリース

インターネットを活用した「高度教育基盤」による

教育支援サービスの提供について

大学eラーニング協議会

関係者 各位

去る4月22日に報道発表及び東北地方の大学へご案内しましたとおり、これまで大学eラーニング協議会のホームページにおいて、eラーニングのサンプル体験版をご利用いただいておりますが、5月20日より、本格的な教育支援を開始させていただき運びとなりましたので、改めてご案内をさせていただきます。

1. 背景

東日本大震災により、多くの大学等が被災し、計画停電や交通機関の制限等により、間接的な影響を多数の大学が受けることが明らかになる中で、開講時間の遅れや授業回数の確保が困難になることが懸念されております。このような状況に対し、特別な準備等することなく「メディアを活用した授業(eラーニングなど)」を容易に活用していただく仕組みを構築しご提供する事で、土日を含む授業開講日以外での柔軟な授業運営(補講対策)や、多くの関係大学が提供する教育素材の活用を通じた新たな教育実践を図って頂き、間接的・直接的に震災の影響を受けた大学の皆様のお役に少しでも立てればと考えております。

2. 本取組の特徴

本取組では、大学eラーニング協議会が窓口となり、協議会加盟の大学が持つ「授業で活用可能なeラーニングコンテンツ」を、「高度教育基盤(クラウド上のeラーニングシステム)」上で集約致しました。利用を希望される教員の皆様は、こうした教材を基盤教材的に各自の授業の中でお使い頂くことが可能です。さらに、クラウド上のシステムも自由にお使い頂けますので、先生一人一人の授業スタイルに合わせた授業実践も可能です。なお、講義単位での学生のアカウントも配布致しますので、一人一人の学習管理を通じた授業の置き換えや補講の実施となるように配慮しております。

具体的には以下のとおりです。

- 文理系分野合わせて50以上の科目、500以上の教材からなるコンテンツ群(5月17日時点)
- 各大学の用途に沿ったコンテンツの活用対応
 - ①「単位認定を想定した授業15回」としての使用 ②対面授業での部分的または教材としての使用」を基本とし、多様なニーズへの対応に備えています。例えば15回授業のうち、10回は対面授業が可能だが、残り5回は開講が困難・・・このうち5回をeラーニングでの開講とすることも可能です。また、学生に対して教材を指定し、宿題として自学自習をするように促すことも可能です。担当教員は学生個々の学習状況を「高度教育基盤」上でデータとして把握することもできます。
 - 「マルチメディアを活用した授業(eラーニング)」・「eラーニング利用」に関するアドバイス等の支援

1 本支援サービスの概要

1.1 支援の目的

大学連携を通じたeラーニングの活用により、大学等の教育に求められている所定の授業時間を確保し、さらに学生の自学自習を実現する環境を用意することで、教育の質保証を図ることを目的としています。

1.2 支援の対象

- 震災の影響により、授業時間、学生の学習時間が震災と比較して難しい状況に置かれている大学、または教員個人を対象とします。大学・学部等組織単位から、科目担当者である先生個人単位まで、ニーズに合わせて対応いたします。

1.3 支援の内容

- eラーニング環境の無償提供
クラウド上で稼働するeラーニングシステム(Moodle)を自由にご利用いただけます。すでにお持ちの、あるいは今後作成予定の教材(授業コンテンツなど)のアップロードや、コミュニティ機能を活用したグループ学習の実施など、それぞれの大学の授業場面に応じてeラーニングシステムをご利用いただけます。
- 協議会の加盟大学が保有するeラーニング教材の無償提供
協議会の加盟大学が日頃授業実践で利用しているさまざまな教材(授業コンテンツなど)を、上記(1)のアカウントを利用して自由にご利用いただけます。
提供する教材は、7月までに順次更新してまいります。
- eラーニングの活用に関するノウハウの提供
上記(1)及び(2)のサービスにより所定の授業時間を確保する方法や効果的な学習の方法などについて、本協議会に加盟するGP推進校が中心になりアドバイスやコンサルテーションを行います。
- 協議会の加盟大学が実施するeラーニングによる単位認定
佐賀大学を中心に、被災大学の学生を履修者(科目等履修生)として受け入れ、eラーニングにより受講及び単位認定を行うサービスをご提供いたします。特に本年度は、提供大学のご厚意により、被災大学の学生は無料でeラーニング科目を履修することができます。本協議会は、利用を希望する大学に対し、科目の提供大学の窓口をご紹介します。

震災対応としての役目を終えた後 文理や学校の種別を問わない汎用性を目指して 8大連携の基盤教材教育WGの中で発展

9

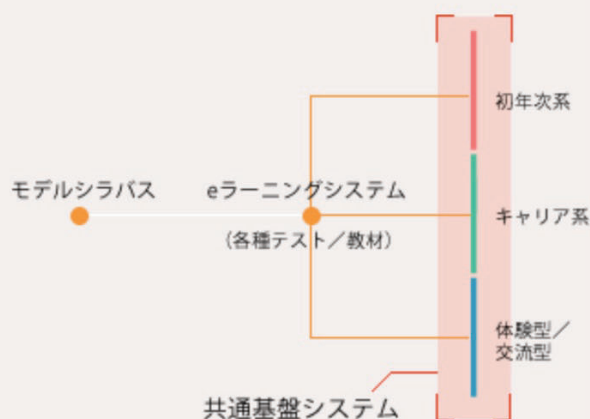
当時のWebサイト（共通基盤WGのページ）より



クラウド上の教育資源による共通化と社会への公開

学士力の知識・理解・汎用的技能等の基本的な内容に関して、文系・理系の学士課程区分やリメディアル教育、初年次教育、キャリア教育等の教育区分を想定しながら、参加大学及びステークホルダーで基盤となる教育内容を協議・策定し、クラウド上の教育資源として質の高い学士力の確保と主体的な学びを促進していきます。

**キャリア系教材や、プレースメント・到達度テストの追加
(文系理系・学校種別を問わずに使える共通基盤化)**



WGによる追加教材の検討

共通基盤システムでの教材等整備

入学後（初年次系）に必要な知識の検討

【事業の実績】 英語・数学・日本語・情報の科目において、プレイズメントテストを実施した後の学習の導きを行うために大学間共有学習教材の作成に取りかかった。この成果を評価するための到達度テストを用意し、3大学でテストを実施し学習効果を検証した。学習内容と系統性を学生が把握できるように標準シラバスを用意した。さらに到達度テストを受けるにあたって学習の段階性を把握でき、またテストの結果から到達度がどの点までか明確に学生が自己検証できるように学習ルーブリックを作成した。

【具体的成果】 文系・理系・私立・国立・4年生大学・短期大学のすべてのカテゴリーに対応するシラバスおよびルーブリックと到達度テストが整備され、どのカテゴリーの学生に対しても、個々の学生の学習達成度を評価できる態勢が整った。これにより、質の保証に向けて各大学が取り組むべき内容を明確化できることになった。実際、到達度テストを実施した3校においてプレイズメントテストと到達度テストの相関を調べることで、学生の学習成果の状況を把握しキャリア形成の指導の実績を上げつつある。

初年次系に必要なeラーニング教材の整備・拡充及びキャリア系eラーニング教材の整備

【事業の実績】 初年次系に必要なeラーニング教材の整備・拡充については、次の実績を得た。

- *日本語：知識・理解の分野の問題を作成（愛知大学）
- *英語：マクミラン提供のプリズム（6冊分）
- *情報：WGにおいて問題案を作成（データベース化）
- *数学：各分野の問題の原稿作成（山梨大学）

入学後の初年次系学習教材については、英語、数学、日本語、情報科目ごとに整備を行った。英語においては、出版社の協力を得ながら演習教材の整備を図った。数学においては、千歳科学技術大学の教材をベースに、主に理系向け演習教材の拡充を行った。日本語においては漢字、語彙力等の知識教材、文章力育成の解説教材の整備を行った。情報においては、日本情報化教育学会と連携のもと、演習教材の整備を行った。

また、キャリア系教材においては、言語能力対策について演習教材の整備を行った。

【具体的成果】 初年次系に必要なeラーニング教材の整備・拡充については、次の成果を得た。

- *日本語教材：eラーニング化（7分野10レベル 各20問）
- *英語：eラーニング化【プリズム（マクミラン提供6冊分）】

上記のeラーニング教材のmoodle版は完成し、共通クラウド上にアップし、利用希望の大学に配布した。

入学後の初年次系学習教材を整備することにより、プレイズメントテスト実施後に、学生が学習を行える環境が整った。

プレイズメントテスト・到達度テストの新規作成とポートフォリオへの活用

問題 1

1 (無理数の四則計算). $(\sqrt{8} + \sqrt{5})(\sqrt{8} - \sqrt{5}) = \boxed{\text{ア}}$ である。

解答 ア: 3 (5点)

2 (式の展開). $(x^3 - 2)^2 = x^m - 4x^n + 4$ とするとき, $m = \boxed{\text{イ}}$, $n = \boxed{\text{ウ}}$ である。

解答 イ: 6 ウ: 3 (全てできて6点)

3 (因数分解). $x^2 - 2x - 15 = (x + \boxed{\text{エ}})(x - \boxed{\text{オ}})$ である。

解答 エ: 3 オ: 5 (全てできて5点)

4 (直線の方程式). 次の問いに答えよ。

(1) $x = 30$ のとき $y = 20$ であり, x の値が 3 増加するごとに y の値が 2 減少する直線の方程式は $y = -\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}}x + \boxed{\text{クケ}}$ である。

大学名: _____ 学部: _____ 学科: _____ 学籍番号: _____

<あなたの科目別基礎力>

	日本語		英語		数学(文系)		数学共通		情報	
	点数	合計	点数	合計	点数	合計	点数	合計	点数	合計
得点	57	100	18	60	3	22	0	11	58	100
学内平均	59.0		28.0		7.0		2.0		55.0	
学内順位	67	1	105	1	98	1	38	1	53	1

日本語

	点数	合計
漢字	18	25
読解	28	50
文法・敬語	6	10
短文読解	5	15

あなたの漢字力は、大学での学習を始めるのに必要なレベルには達していないので、少し基礎的な学習が必要です。また、読解力、文法力、短文の読解力に関しては、基礎からの学習が必要です。

英語

	点数	合計
単語	6	20
イディオム	3	15
文法	6	20
内容理解	3	5

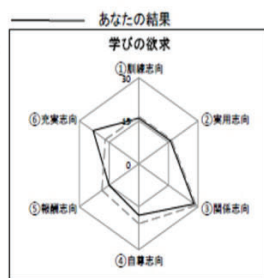
全体的に英語が苦手ではありませんが、少しずつでも日々英語に接することが、上達の近道です。

数学

	点数	合計
高校1年学習分野	3	22
高校2年学習分野		
高校3年学習分野		

高校1年の数学について基礎的な学習が必要です。下記の項目の問題が不正解です。
正負の数、比例と反比例、平面図形、三角形と四角形(二等辺三角形、直角三角形)、三角形と四角形(平行線と面積)、平方根、関数、三平方の定理、整式の因式分解、連立方程式の計算、関数と組み合わせ、三角関数の計算、三角関数の関係、正弦定理、余弦定理、関数のグラフ、放物線の平行移動、2次関数の最大最小、2次関数の頂点

<あなたが見た自分の学び>



まとめ

共通基盤教材のベース：2011年震災対応Moodle の構築



役目を終えた後、現在のUeLAの共通基盤のベースへ



8大学連携事業における「文系理系・学校種別を問わずに使える共通基盤化」
(キャリア系の教材の追加、プレースメント・ポストテスト等の整備)



現代の共通基盤へ

多くの教育機関や先生方の協力と熱意に支えられ、
教材とそのノウハウを共有する汎用的な共通基盤が形成されてきた
今後もこの枠組みを基盤として発展していくことを目指したい

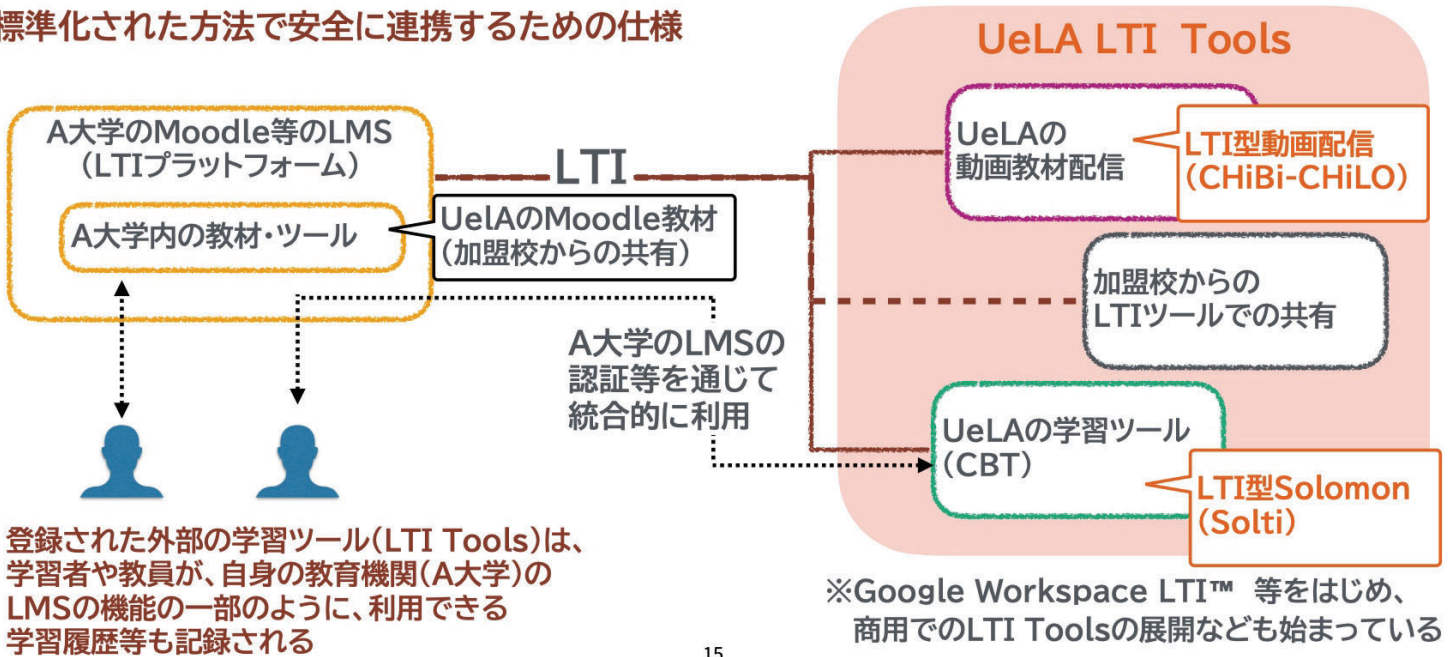
13

これからの共通基盤教材

14

UeLAによるLTIの利用

学習プラットフォーム（Moodle等）と外部の学習ツールや教材を標準化された方法で安全に連携するための仕様



15

みなさまのお手元の教材の共有のお声かけを
ぜひお待ちしております

16

共通基盤教材を活用した 入学前教育の実践事例 ～愛知大学の事例～

愛知大学 湯川 治敏

愛知大学および地域政策学部について

- ❖ 1946年 旧制法文系大学として愛知県豊橋市にて開学
- ❖ . . .
- ❖ 2026年現在（今年80周年）
 - ❖ 名古屋校舎（法学部，経営学部，現代中国学部，国際コミュニケーション学部）
 - ❖ 豊橋校舎（文学部，地域政策学部，短期大学部）
 - ❖ 車道校舎（法科大学院）
 - ❖ 学生数約9500人規模
 - ❖ 地域政策学部（220名定員：5コース）
 - 公共政策
 - 経済産業
 - まちづくり・文化
 - 健康・スポーツ
 - 食農環境

入学前教育の概要

目的

- 継続的な学習習慣を身につけると同時に中学・高校で学んだ学習内容を復習し、大学教育を受けるための準備を整える

対象

- 地域政策学部一般入試を除く年内入試合格者全員
 - 毎年100名程度
 - ただし併願者合格者は任意
- 他学部のスポーツ特別入試合格者
 - 英語のみ（40名程度）

科目

- 日本語、英語、数学（中1～高1までの復習）

実施期間詳細

- 日本語・英語（Termごとに内容を割り当て）
 - 第1Term：01月12日～01月18日
 - 第2Term：01月19日～02月01日
 - 第3Term：02月02日～02月15日
 - 第4Term：02月16日～03月01日
 - 第5Term：03月02日～03月15日
- 数学（中学1年から高校1年までを各セクションに割り当て）
 - 第1セクション：01月12日～01月18日
 - 第2～5セクション：01月19日～03月15日

入学前教育の概要

実施方法

- 共通基盤教材を用いたe-learning（CBT利用）
- 日本語、英語、数学とも演習問題を1～7までレベル分け
- 日本語・英語の場合、それぞれのTermのPre-Testで現在のレベルを確認し、7でない場合は該当レベルから2～3上まで学習を進める
- 学習終了後にPost-Testで学習成果を確認する
- 数学の場合はそれぞれのSectionのPre-Testで7に達していればそのSectionの課題を学習する必要は無し
- もし7に達していなければ該当レベルから7まで学習を進める
- 学習終了後にPost-Testで学習成果を確認する

実施までの準備

- 入学前ガイダンス（Online）のアナウンス（合格通知に同封）
- e-learning実施方法動画の作成
- 入学前ガイダンスサイトの公開
- 共通基盤サイトへのアカウント登録
- 入学前学習実施マニュアルの作成・メール送付（12月下旬まで）
- Online入学前ガイダンス（01月10日）
 - 前々日にZoom接続テスト実施
 - ガイダンスの冒頭20分にe-learning実施方法の説明
 - 残りは教員・在学生との交流会



■実施マニュアル

■全3ページ

■個人IDを記載

■メールにて個人宛に送付

■サイトへのログインから各教科の実施方法

■理解度テストの実施方法


■自身の学習状況の確認方法


2026年度 愛知大学地域政策学部入学前学習 (e-learning) 実施マニュアル

◇ 入学前学習 e-learning では大学 e-ラーニング協議会 (本学を含む8大学) の共通基盤教育システム (uela-Solomon) を利用します。uela-Solomon は、公立千歳科学技術大学の情報メディア・システム系の教育プログラムの一環で制作され、現在は大学 e-ラーニング協議会と協同で運用されていますが本学での運用に関しては、全て愛知大学地域政策学部にて任されているため、<http://www.kusshu.ac.jp> 立千歳科学技術大学への問い合わせは一切行わないでください。

■ GoogleChrome, MozillaFirefox, Safari, MicrosoftEdge などのウェブ・ブラウザで下記 URL にユーザ ID およびパスワードを使ってログインしてください。なお、ブラウザのバージョンは最新版を推奨します。ブラウザのクッキー (Cookie) 設定を必ず有効にしてください (ブラウザにより方法は異なります。ヘルプなどで調べてください)。

uela-Solomon 受験番号 【<受験番号>】	https://solomon.uela.cloud/ 氏名 【<氏名>】	ユーザ ID 【<ID>】	パスワード 【<Pass>】
----------------------------------	---	------------------	-------------------



- ◇ 以下の説明に従って e-learning 実施環境アンケートへの回答とパスワードの再設定を実施してください。
1. 下記 URL あるいは QR コードにアクセスし、「入学前学習 2025 実施環境アンケート」に回答して下さい。なお、アンケート結果は即登録したメールアドレスに送信され、後から修正も可能です。もし実施環境を変更した場合は再度アンケートに入力してください。
実施環境アンケート URL <https://bit.ly/3JVRI6>
 2. 上記 URL のシステムにログインし、「設定」メニューの「パスワード」を選択して新しいパスワードを設定してください。
 3. 続いて以下の説明に従って e-ラーニングを実施してください。
- 

uela-Solomon (e-learning システム) へのログインと e-learning の概要

- ◇ 内容は日本語、英語および数学における中学校、高校の復習課題で構成されています。各科目とも学習の最初に理解度テスト (Pre-test) を実施して自分の理解度を確認し、理解度に応じた学習教材 (レベル1~7まで) を学習し、さらに学習後は再度理解度テスト (Post-test) を実施し学習成果を確認します。
- ◇ 日本語・英語はそれぞれ5つの Term (期間) に分かれており、それぞれの実施時期は以下の通りです。各 Term での課題は次の Term 開始後も実施可能ですが、まとめて課題を解くのではなく、**毎日少しずつでも学習する習慣を身につけてください。**
- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 第1 Term (2026年01月12日(月)~) | 第2 Term (2026年01月19日(月)~) |
| 第3 Term (2026年02月02日(月)~) | 第4 Term (2026年02月16日(月)~) |
| 第5 Term (2026年03月02日(月)~) | |
- ◇ 日本語・英語とも第1Termは理解度テストの実施方法の確認と今後のレベル別学習の方法に慣れるためのお試し期間です。特に難しいことはありませんが、自分の環境で理解度テストと演習問題が実施できるかどうかを必ず確認して下さい。
- ◇ 第2Termからは日本語・英語とも単元別の学習を開始します。まずそれぞれの Term の最初に理解度テスト (Pre-test) を受験して下さい。結果は必ず確認できますので自分のレベルに応じた演習問題 (レベル1~7) を選んで学習して下さい。結果の確認方法は動画で説明します。なお、日本語・英語とも最高レベルは7ですが、それぞれの Term 内で現在のレベルから2~3高いレベルを目指して学習して下さい。演習問題は全てのレベルの問題に取り組みるように設定していますが、判定されたレベル以下の演習問題に取り組み必要はありません。「レベル3」と判定された場合はレベル3から学習を開始して下さい。
- ◇ 各 Term 終了後は再度理解度テスト (Post-test) を受験し、学習成果を確認して下さい。
- ◇ 数学は5つのセクションに分かれており、それぞれの標準的な実施時期は以下の通りです。第2セクション開始の1月19日に第2~5の理解度テスト (中学1年数学~高校1年数学 Pre-test) を実施し、学年別の理解度を確認して下さい。日本語・英語と同様、学年別の理解度レベルに合わせた学習を開始し、次のセクション開始までにレベル7まで学習して下さい。但し、Pre-test でレベル7 (最高レベル) と判定された場合にはその学年の演習問題を学習する必要はありません。例えば、中学1年数学のレベルが7で中学2年数学のレベルが5、中学3年数学のレベルが4だった場合には第2セクションは飛ばして第3セクションのレベル5の演習問題を前倒して実施してレベル7まで学習して下さい。どのセクションも1月12日以降は実施できる設定になっています。各セクションの学習期間 (2週間) 終了後は Post-test を実施し、学習成果を確認して下さい。もし、中学1年~3年数学まで全てレベル7だった場合は第5セクションの高校1年数学を前倒して実施して下さい。高校1年数学より理解度テストがありますので中学数学と学習方法は同じです。但し、中学1~3年の Post-test でレベル7未満であれば次年度入学までに中学数学を完璧に出来る様努力して下さい。全てレベル7まで学習した後に高校数学をはじめて下さい。
- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 第1セクション (操作のお試し: 2026年01月12日(月)~) | 第2セクション (中学1年: 2026年01月19日(月)~) |
| 第3セクション (中学2年: 2026年02月02日(月)~) | 第4セクション (中学3年: 2026年02月16日(月)~) |
| 第5セクション (高校1年: 2026年03月02日(月)~) | |

- ◇ 各科目の実施方法の詳細は動画にて説明します。
- ◇ ログインできない場合は愛知大学湯川 (yukawa@aiichi-u.ac.jp) まで電子メールにて問合わせてください。携帯メールからも送信可能です。その場合は、必ず受験番号、ユーザ ID、氏名を明記して下さい。
- ◇ 各科目とも単元の最初に理解度テスト (Pre-test) を実施し、そのレベル判定によってその後の学習内容が異なります。限られた期間内に出来るだけレベルが上がるよう学習し、学習期間の最後に再度理解度テスト (Post-test) を実施して学習成果を確認しましょう。
- ◇ メンテナンスなどの為、システムが一時的に利用不可になる場合があります。そのような場合は半日あるいは1日程度経過した後再度アクセスしてください。
- ◇ システムの安定的な運用の為、ブラウザの「戻る」ボタンは使わず、動作が遅くなった場合もキーボードの連打や連続クリックは避けてください。また、**ブラウザでは必ず Cookie (クッキー) の設定を有効にしてください。**
- ◇ 対応ブラウザとそのバージョンについてはログイン後の画面で確認してください。

各画面および機能の説明

① uela-Solomon ログイン画面



・上記 URL <https://solomon.uela.cloud/> にアクセスし、トップ画面で右端の「ユーザ ID」「パスワード」を入力後「ログイン」ボタンをクリックします。初回ログイン時に自分のパスワードを変更して下さい。

② コース一覧画面を選択



・画面左上の「コース」タブの「一覧」をクリックすると左側に実施可能なコンテンツが表示されます。それぞれの科目 (日本語、英語、数学) をクリックし、演習問題を実施して下さい。

③ 「日本語」演習問題の解答方法



【答え方の説明】
・画面左側の Term およびレベルを選択すると左側のような形式の問題が表示されますので、回答欄の「○」を選択して下さい。選択後に「解答する」ボタンを押すと正解が得られた場合のみ「○」が表示され、右側画面上部の現在の問題番号下の「？」が「○」になります。なお、ヒントがある問題で、ヒントを見て正解した場合には「△」になります。
※ 全ての問題で「○」つまりヒントを見ずに正解できるようにするまで努力して下さい。
※ 各単元にはレベル1からレベル7まで各20問の問題があります。学習開始のレベルから2~3レベル上までの全ての問題で「○」になるよう (ヒントを見ずに正解できるように) 頑張ってください。
※ 不正解「×」やヒントを見ての正解「△」になった場合は再度その問題にアクセスし、ヒントなしで正解すれば「○」になります。

④ 「英語」演習問題の解答方法



【答え方の説明】
・日本語と同様に Term およびレベルを選択し、回答欄の選択肢から正解を選んで下さい。選択後に「解答する」ボタンを押すと正解「○」、不正解「×」、ヒントをみて正解「△」が問題番号下に表示されます。
・ヒントを見て正解した場合には「△」となりますので再度時間をおいてチャレンジし、ヒントを見ずに正解「○」となるよう努力して下さい。
・1問の中に複数の回答欄がある場合もありますので注意して下さい。
※ 各単元にはレベル1からレベル7までの問題があります。学習開始のレベルから2~3レベル上までの全ての問題で「○」になるよう (ヒントを見ずに正解できるように) 頑張ってください。

⑤ 「数学」演習問題の解答方法



【答え方の説明】
・日本語・英語と同様、選択問題の場合は正解を選択し、右下の「解答する」ボタンを押して下さい。
・数学入力の場合は必ず半角英数で答えを入力して下さい。

※タブレット・スマートフォン対応ですが、実施する際には必ず紙と鉛筆を用意し、紙で計算した結果を入力して下さい。

⑥ 「理解度テスト (Pre-test, Post-test)」の実施方法



【実施方法の説明】
・日本語・英語・数学とも理解度テスト (Pre-test, Post-test) を選択すると左の画面になります。
・左にはテストの名称が表示されますので Pre-test と Post-test の実施時期を間違えないよう注意して下さい。学習実施前は Pre-test です。
・テスト中は右上の「×」ボタンは無効になり、途中でやめることは出来ませんので注意して下さい。
・表示形式は演習問題と同じですが、ヒントは無く、解答しても正解・不正解は表示されません。
・開始するには中央下の「理解度テストを開始する」を押して下さい。
・画面左下に「解答した問題数/出題数」が表示されます。
・解答が数値の場合、必ず半角英数で解答して下さい。
・全問題が終了すると、下のような表示が出るので必ず「終了する」を押して下さい。

⑦ 「理解度テスト (Pre-test, Post-test)」の結果確認方法



【テスト結果の確認】
・各科目のテスト実施直後は赤丸で囲ったようなレベル (1~7) が表示されます。
・その下の「問題ごとの成績を見る」ボタンを押すとその下に問題ごとの結果が確認でき、右の「プレビュー」ボタンを押すと同じ画面でヒント付で表示されますので間違いないを確認することが出来ます。
・Pre-test の場合はこの「レベル」に合わせて演習問題の学習を開始して下さい。
・既に実施済みのテスト結果を見るには下のように入力済みテストを選択し (1)、「テスト結果を表示する」(2) ボタンを押すと左の画面になります。

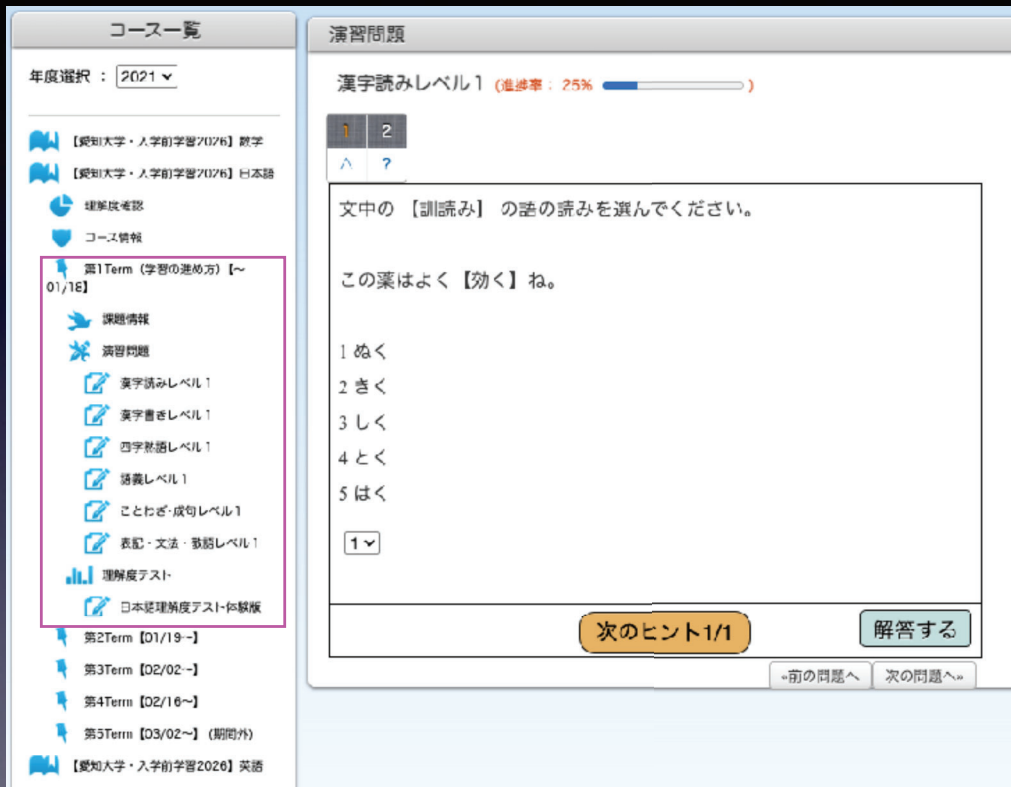
⑧ 「学習状況」の確認



・左の図のように単元ごとに結果が表れます。学習する単元のレベルでは進捗率が100%になるよう努力してください。「進捗率100%」とはその単元の全ての問題でヒントを見ずに正解できた事を意味します。
※ 実施状況が思わしくない場合はこちらから連絡する事がありますので電子メールは頻りにチェックして下さい。
※ 何か不明な点があれば愛知大学地域政策学部入学前学習教育担当: 湯川 (yukawa@aiichi-u.ac.jp) まで連絡してください。

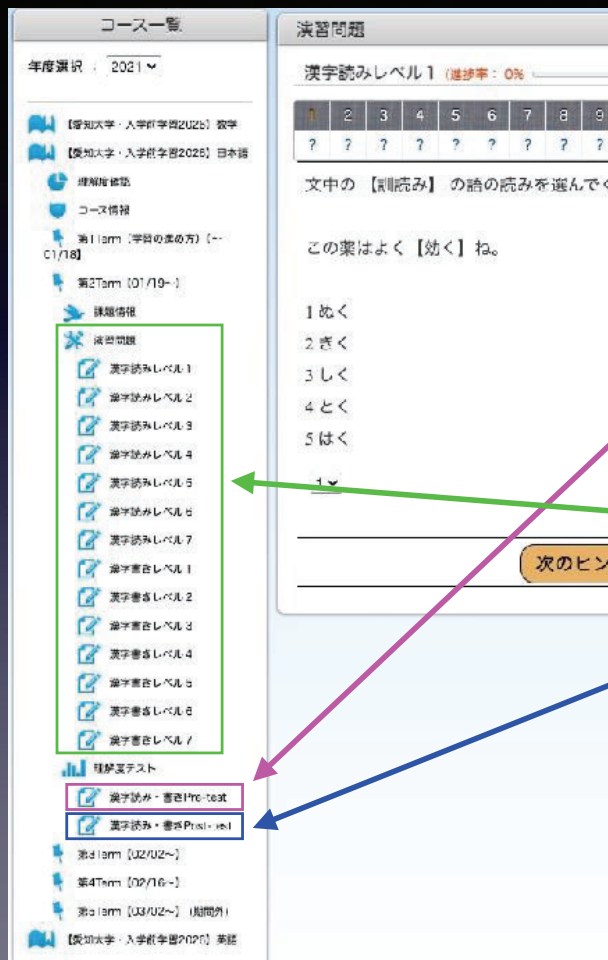


具体的な学習の進め方（日本語・英語）



日本語・英語とも第1Termは学習の進め方と理解度テストの実施方法の確認

具体的な学習の進め方（日本語・英語）



第2Term以降は

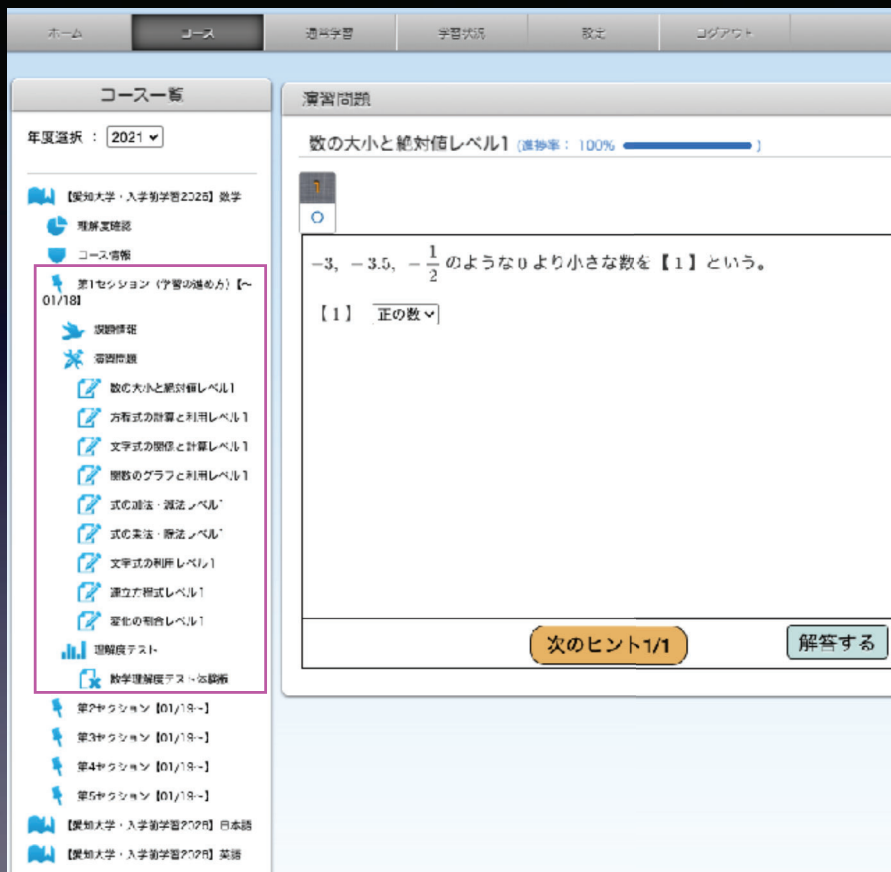
1. Pre-testでレベル確認

・例) レベル3と評価されたらレベル3以降を学習

2. 該当するレベルから2~3レベル上まで学習を進める (7まで学習しても可)

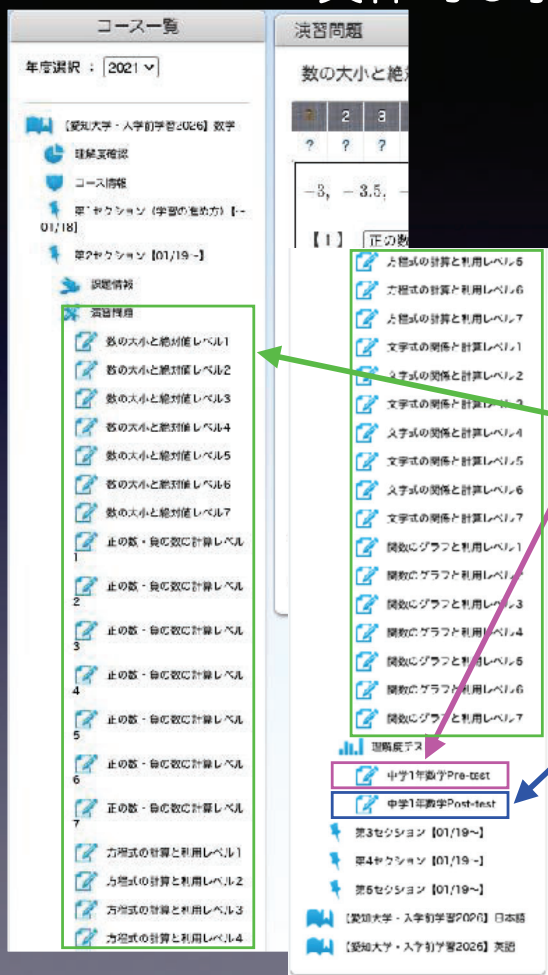
3. Post-testで学習成果の確認

具体的な学習の進め方（数学）



❖ 数学も第1 Sectionは学習の進め方と理解度テストの実施方法の確認

具体的な学習の進め方（数学）



❖ 第2 Section以降は

1. Pre-testでレベル確認

2. Pre-testでレベル7と判定された場合にはそのSectionの学習およびPost-testの受験は必要無し

3. もしレベル7に達していなければ該当するレベルからレベル7まで学習を進める

4. Post-testで学習成果の確認

※ 数学は中学1~3年、高校1年までの問題の為、全てレベル7まで学習する

今後の課題

■実施状況の確認作業の効率化

■現在はアルバイト学生の手作業

■実施状況のフィードバック

■現在は実施状況の思わしくない受講生へのメール連絡

■各受講生の実施状況に応じたアドバイス

■取り組み状況と入学直後の成績などとの関連性の検討

ご清聴ありがとうございました

共通基盤教材を活用した 入学前教育の実践事例 —山梨大学の事例—

山梨大学アドミッションセンター

特任助教 吉田 翔太郎



1

報告内容

- 入学前教育の背景と関連政策の展開
- 山梨大学における経緯と出願資格化
- 医学部看護学科での実践事例：共通基盤教材の受講状況分析（2022～2025年度）
- 今後の課題

2

「入学前教育」の定義と背景

【背景】推薦入試やAO入試では入学決定から数ヶ月の空白期間が生じ、入試準備の動機を失った高校生は**自己管理の困難や周囲への悪影響**が懸念。

(小笠原正明2018「入学前教育」『大学事典』平凡社)

【定義】主に早期合格者を対象にして、**学習意欲や動機づけ、また学習習慣や学力の維持・向上を目的として、大学に入学する以前に、大学が学習の準備などを行わせる教育活動。**

(杉谷 祐美子2015「第3回」高大接続に向けた大学教育の対応-移行期の教育活動の効果と課題」ベネッセ教育総合研究所「第3回」高大接続に向けた大学教育の対応-移行期の教育活動の効果と課題」)

【実態】1990年代半ば～2000年頃の初期の入学前教育は、履修歴を背景とした**補習教育とAO入試合格者の学習動機維持を促す教育**であり、**初年次教育とリメディアル教育の両側面**を有していた。**現在もその構造は維持されている**場合が多い。

(岡田航平 2021.「行政文書における入学前教育の変遷と考察」『京都大学高等教育研究』, 27: 48-56)

リメディアル教育4類型：山本(2001)

①高等学校までの教科教育復習型	補充授業
②大学での学習活動の入門型	大学での学びのスキル
③大学専門課程受講前の専門知識の導入型	大学の専門教育基礎
④入学前教育	合格者対象



【入学前①】高等学校までの教科教育復習型
【入学前②】大学での学習活動の入門型
【入学前③】大学専門課程受講前の専門知識の導入型
【入学後④】高等学校までの教科教育復習型

(注) 岡田(2021)、山本(2001)をもとに筆者ら作成

(吉本 博明ほか 2023.「入学前教育の効果と大学教育への接続に向けた課題—「学問サキドリプログラム」を事例として」『南九州大学研究報告』第53巻：23-32 (2023) 23。)

図1. リメディアル教育の新4分類

3

関連政策の展開

2000年：大学審議会答申「大学入試の改善について」

- 早期合格者への入学前学習指導と高校との連携協力が要請。

2003年：2004年度大学入学者選抜実施要項

- AO入試実施校に対し入学までの課題付与を「望ましい」と明記。

2010年：2011年度大学入学者選抜実施要項

- 対象をAO入試以外にも拡大し、APとの関連留意を追記
 ▶「その後の入学前教育に関する伏線」(岡田 2021)

2017年：文科省「H33年度実施要項の見直しに係る予告」

- AO入試69%・推薦入試86%で入学前教育が実施されている現状を示しつつ、「入学前教育の実質化」を課題として提起。

2021年度大学入学者選抜実施要項～

- **12月以前の入学手続者には「積極的に」措置を講ずることとし、高大連携した取組を推奨するに至った。**

所謂「入試改革」以前からも実施は推奨

4

山梨大学のプロフィール

甲府キャンパス（甲府駅から徒歩15分）



教育学部 ●学校教育課程
Faculty of Education

21世紀を生きる人間の発達と学習を実践的に支え、
人間性と教育文化への洞察力を備えた教育人を養成

110名、7コース

医学部キャンパス（甲府郊外の中央市）



医学部 ●医学科 ●看護学科
Faculty of Medicine

医療人としての基盤を築き、夢に向かって邁進する

185名、2学科



工学部 ●工学科
Faculty of Engineering

- 総合工学クラス
- グリーンエネルギー化学コース
- 応用化学コース
- 土木環境工学コース
- コンピュータ理工学コース
- 機械工学コース
- メカトロニクスコース
- 電気電子工学コース
- 先端材料理工学科

最先端の技術と研究を展開し、世界へ羽ばたく技術者を育成

365名、7コース＋総合工学クラス（2024-改組）



生命環境学部 ●生命工学科 ●地域食物科学科 ●環境科学科 ●地域社会システム学科
Faculty of Life and Environmental Sciences

自然環境と人間社会の共生を科学し、人類の未来の担い手を育成する

165名、4学科（うち1学科は文系）

山梨大学における入試区分毎募集人員 （2026年度入試）

学部・学科	入学定員	共通テスト無特別選抜
教育学部	110	学推52（47%）
医学部医学科	125	0（0%）
医学部看護学科	60	学推25（42%）
工学部	365	学推62＋総合30（25%）
生命環境学部生命工学科	50	学推12（24%）
生命環境学部他3学科	115	0（0%）
合計	825	181（22%）

共通テスト有特別選抜
を含めると30%

山梨大学における入学前教育の経緯

2006年～2017年度入試

- **工学部**で開始。センター試験を課さない推薦入試の全学科で実施。1～3月に数学・英語の**eラーニング (Solomon)**を課す形態。チューターによる実施状況報告・激励の手紙あり。

2017 (2018年度入試)

- 推薦入試は継続するも**工学部**では**従来型の入学前教育はいったん途切れる** (経緯詳細不明)。
- アドミッションセンター設置 (2017) 後、**医学部看護学科** (センター無し推薦) で実施。**Solomon活用**。

2018 (2019年度入試) : **工学部応用化学科** (センター無しAO) で導入

2019 (2020年度入試) : **Solomonにかえて**、教材の選定 (民間教材) や課題図書を用いた学習課題に変更

2020 (2021年度入試) : **工学部コンピュータ理工学科** (総合型Ⅰ)、**教育学部** (学校推薦型選抜) で実施

2022 (2023年度入試)

- **アドミッションセンターによる支援再開** (**看護学科**入学前教育での**Solomon (再) 使用**など)

2023 (2024年度入試)

- **工学部**改組にともない全コースで総合型Ⅰ・学校推薦型Ⅰを導入、入学前教育を (再) 実施

2024 (2025年度入試)

- **生命環境学部生命工学科** (学校推薦型Ⅰ新規実施) で導入

※教育学部以外で
solomon利用

発表者着任



7

入学前教育受講出願資格化 (2026年度入試～)

令和8年度以降の学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅰにおける入学前教育受講の出願資格化について

2024年8月2日

令和8年度以降の学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅰにおける入学前教育受講の出願資格化について

山梨大学

山梨大学では、令和8年度入試 (令和7年度実施) から、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅰにおいて、入学前教育の受講を出願資格化します。

同入試区分では、これまででも合格者に対し入学前教育を実施しておりますが、予定している高大接続を意識した入学前教育の充実に合わせて、改めて出願資格化するものです。

中期計画の評価指標「各教育プログラムが実施する**高大接続事業への参加を前提とした入学者選抜方法**の策定・実施：令和7年度から実施、以降継続」達成のため

➤ 事実上義務化していた実態にあわせたもの

“合格発表後に、入学前教育を諸事情のため受けられなかったとしても不合格とはしません。が、受講状況等が芳しくない場合には合格を取り消すことがあります。”

アドミッションセンターによる実施支援

従来通り**入学前教育は各学部・学科主体で実施する**としつつ、アドミッションセンターによる支援をアドミッション委員会で提案

1. 本学が加盟しているUeLA（大学eラーニング協議会）の共通基盤教材（一部CBT化もされているeラーニング教材）の活用支援
2. 同じ学部学科別、あるいは担当教科別の学生を募集し、学生による伴走（チューター）の仕組みを整備
3. オンライン・対面（あるいはハイブリッド）による入学予定者対象の会合の企画・運営・実施の支援
 - ▶ 学部横断型合格者入学前懇親会の実施
 - 高大接続プログラムとも連携して2～3月に実施（UY-Navi）

2022～現在 医学部看護学科から支援要望

▶ 業者教材（教材費自己負担：進研アド学問サキドリプログラム）からeラーニング教材へ

2023～現在 工学部から支援要望

2024～現在 生命環境学部生命工学科から支援要望

※教育学部は教科・科目型の入学前教育を実施していない。

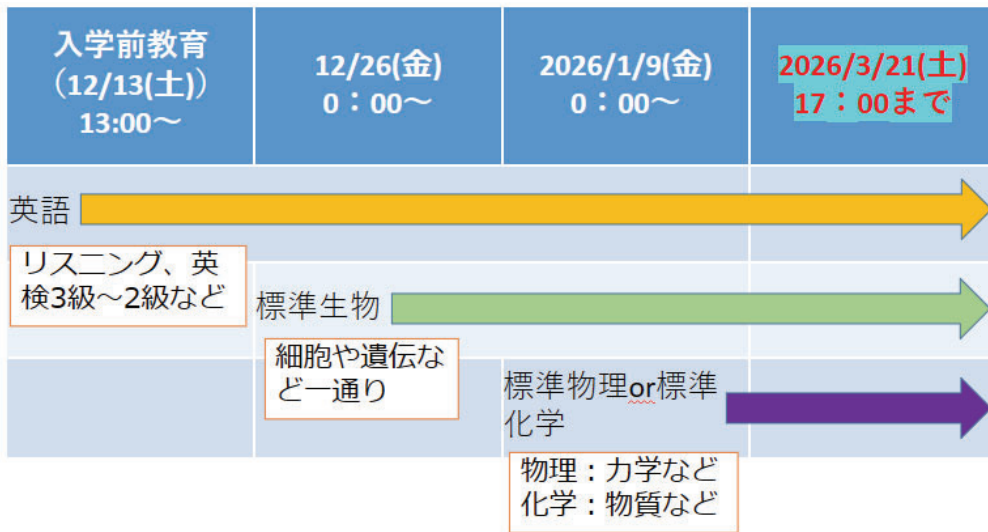
入学前教育の具体的な実施内容

実施学科等	R8入試合格者（R7実施） 内容
医学部 看護学科	入学前教育説明会 12月13日（土）10:00-11:30 オンライン 学科長挨拶、自己紹介・交流、課題の確認、e-learning受講方法説明（アドミッションセンター） 課題設定型小論文 学修計画・実施報告書作成 大学入学共通テスト・目標点申告／自己採点申告書 E-learning受講（英語、生物、化学または物理） →ほぼ全てをアドミッションセンターが担当 デジタル看護教科書
工学部	合格者初回会合 総合型選抜Ⅰ：11月20日（木）17:30-19:00 オンライン 学校推薦型選抜Ⅰ：12月18日（木）17:30-19:00 オンライン 学部長挨拶、入学前教育について説明、E-learning教材の紹介及びUY-Naviの紹介（アドミッションセンター） 学習計画・実施報告書 ※自主学习教材の選択肢の一つとしての位置づけ 大学入学共通テスト目標点申告書及び自己採点報告書 動画視聴・レポート提出（山梨大学工学部の研究を覗いてみよう、社会で活躍する山梨大学工学部卒業生） 英語学習サポート（「高校生のためのTOEIC L&R 学習スタートダッシュ」60分×2回）
生命環境学部生命工学科	オンラインオリエンテーション 12月13日（土）10:00～ オンライン（Zoom） 印刷物送付による数学の学習（「新入生のための数学入門」＋「ふりかえり・章末問題」、12～3月） UeLA教材理科（化学・生物）の学習（Solomon、12～3月） ※進捗管理等は学科教員が担当

E-learningの
位置づけが3
学科で異なる

看護学科での実践事例①

12/5(金)
合格発表



- 入学前教育説明会においてアドミッションセンターから合格者へ受講方法等を説明
- 月1-2回、看護学科の入学前教育担当教員に進捗状況を報告
- 3月に進捗状況が芳しくない合格者へは個別に連絡
- 学修計画書に基づく自主学習が基本

看護学科での実践事例②

英語
(2415問)

基礎がためリスニング (中学英文法) Part 1

- be動詞・現在形
- 一般動詞・現在形
- be動詞・過去形
- 一般動詞・過去形
- 接続詞1
- 命令文
- 疑問詞
- 代名詞・名詞・形容詞・副詞
- 現在進行形
- 助動詞1
- 前置詞

基礎がためリスニング (中学英文法) Part 2

- 過去進行形
- 助動詞2
- 不定詞
- 動名詞
- 接続詞2
- 様々な表現1
- 比較
- 受動態

基礎がためリスニング (中学英文法) Part 3

- 現在完了
- 時制
- 接続詞3
- 間接疑問文・付加疑問文
- 分詞
- 関係代名詞
- 基本5文型
- 様々な表現2
- 英文の流れ (句、節)

大学リメディアル英語

- 英語の時制 (初級)
- 英検3級 リスニング
- 英検3級 筆記問題
- 英検3級 二次試験 (面接) 問題
- 英検準2級 リスニング
- 英検準2級 筆記問題
- 英検準2級 語彙文法問題
- 英検準2級 整序問題
- 英検2級 筆記問題

生物 (336問)

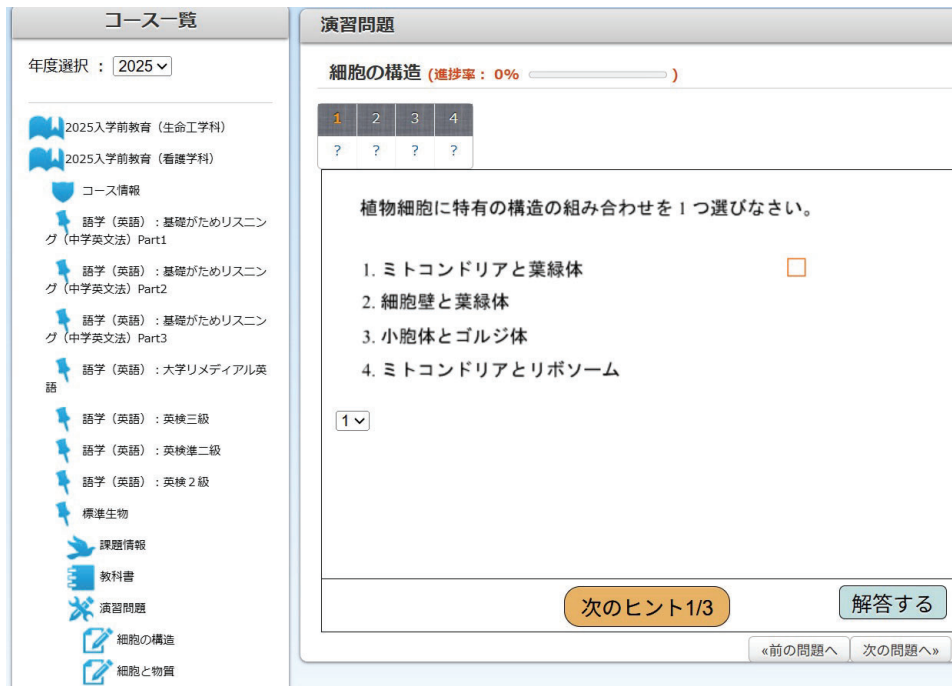
- 細胞から個体まで
- 細胞の構造
- 細胞と物質
- 細胞の種類と増殖
- 代謝
- 細胞内での代謝
- 消化・吸収
- 生殖と発生
- 生殖
- 動物の生殖・発生
- 遺伝
- 遺伝とは
- 遺伝子の構造とはたらき

化学 (122問)

- 刺激の受容と反応
- 刺激の受容と反応
- 神経系
- 効果器 (作動体)
- 個体の恒常性と調節
- 恒常性の維持
- ホルモンとそのはたらき
- 自律神経とホルモンによる調節
- タンパク質と生物体の機能
- 呼吸
- 光合成
- いろいろな同化
- 細胞膜とタンパク質
- 遺伝情報とその発現
- 遺伝子の本体
- DNAの構造と複製
- 身のまわりの物質
- 身のまわりの物質とその性質
- 化学変化と原子分子
- 物質が分かれる変化
- 物質の成り立ち
- 物質が結びつく変化
- 化学の基礎
- 化学の基礎
- 物質の構成
- 純物質と混合物
- 元素・単体・化合物
- イオン
- 化学反応式
- 化学反応式
- 酸化還元反応
- 酸化と還元
- 物質の構造と化学平衡
- 化学結合
- 生活と物質
- 高分子化合物
- 糖類 (炭水化物)
- アミノ酸とタンパク質
- 脂質

2022年に看護学科教員と確認し設定
以後4年間そのまま

画面イメージ (生物)



13

看護学科での実践事例③

2022年度 (2023年度入試合格者)

- ※志願倍率3.1
- 物理選択0人 (全員化学)
 - 25人中**22人が完遂** (3人は86-99%)
 - 全員100%は求めない旨看護学科教員に確認



2023年度 (2024年度入試合格者)

- ※志願倍率2.8
- 物理選択2人
 - 25人中**24人が完遂** (1人は68%)



2024年度 (2025年度入試合格者)

- ※志願倍率2.8
- 物理選択1人
 - 25人中18人が完遂 (うち1人は15%)

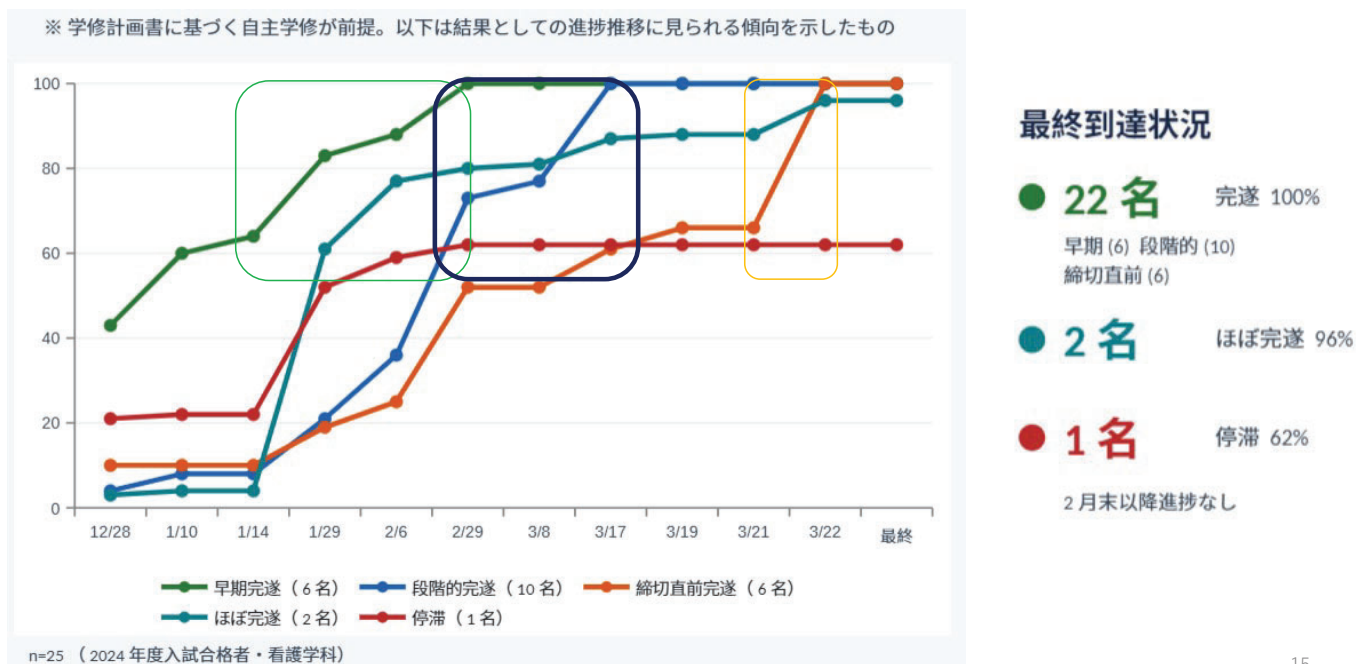


【途中】2025年度 (2026年度入試合格者)

- ※志願倍率2.9
- 物理選択2人
 - 25人中10人が完遂 (3/2時点)

14

看護学科での実践事例④（2023年度実施）



15

看護学科での実践事例⑤

どの年度でも**3月下旬の追い込み**で完遂に到達する層が一定数存在

- 2022年度は3月下旬完遂が7名、2023年度は締切直前完遂が6名。
 - リマインドや個別連絡が有効に機能しうる層

最終的に**完遂に至らない**学生が毎年2～3名

- その中に「途中で完全に停滞する」パターンが含まれている点も共通

2024年度実施で**完遂率が落ちた**

- 専任教員が1人になり進捗確認・リマインドが後手になった
 - 担当者のモニタリング頻度が成果に直結する可能性

2025年度はやや**二極化**しており、**低進捗層が厚い**まま3月に入った

- 低進捗層→事前提出物が期日までにしなかった層と一部重複

16

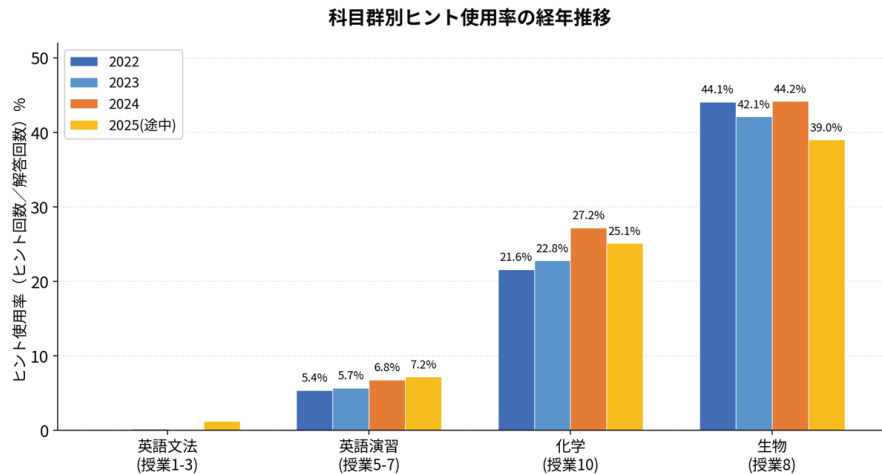
看護学科での実践事例⑥

科目毎の正答率

- 英語文法（基礎固め～）は78～83%で安定的に推移
- 英語演習（英検等）は56～59%でやや低い水準にとどまる
- 生物は56～60%、化学は60～64%で、いずれも理科系科目は英語文法に比べ20ポイント以上低い

ヒント使用率（右図）

- 英語文法ではほぼゼロ（0.1～1.2%）であるのに対し、生物は約40%、化学は約21～27%と高く、理科系科目では繰り返し解答・ヒント参照しながら進める学習行動が常態化している



17

看護学科での実践事例⑦

経年分析から見える特徴と課題

2022～2024年度の結果から

- 英語・理科ともに受講率は92～100%の水準を3年間維持しており、**入学前教育への取り組み自体は総じて良好**である
- 正答率やヒント使用率の年度間変動も小さく、**学習行動のパターンは年度を超えて再現性が高い**

理科科目の教材難易度に関する示唆

- 生物の1人当たり解答回数は総問題数の約2倍**に達しており、**同じ問題を繰り返し解答する傾向**が4年間一貫している
- ヒント使用率の高さ**と合わせ、教材の難易度設定と入学予定者の既習水準との間にギャップが存在する可能性がある
- 物理は選択者がほぼ皆無であり、**選択必修としての位置づけの再検討**も一つの論点となりうる

18

今後の課題

◆ 科目・範囲設定の妥当性

- 科目（英語・生物・化学または物理）と出題範囲は4年間据え置きのまま。学科教員からは「おまかせ」の状態が続いている。入学後のカリキュラムとの接続を考えれば、担当者側にも内容の妥当性を判断できる知見が求められるのではないか。

◆ 効果検証の不在

- 現状は進捗報告の確認と完遂の有無を把握するにとどまり、学力の維持・向上への効果が検証されていない。効果検証の必要性は認識しつつも、対照群の設定や入学後の成績との紐づけなど、実現可能性との間にジレンマがある。

◆ 教材・プラットフォームの持続性と取組の意義の可視化

- 現行の教材は**合格者の費用負担ゼロ**という最大の利点がある一方、PC限定の受講環境はハードルとなりうる（直接的な意見は無い）。ただし入学後にPCを日常的に使用することを踏まえれば、その操作に慣れてもらう意味も見いだせる。
- 工学部では今年度から有料の民間教材（進研アド学習SAI-TEKIプログラム）を選択肢の一つとして提供し、一定の利用率があったとのこと。
- 使い続けてもらうためにも、入学予定者・高校・学部学科教員に対してsolomon受講のメリットを明示する必要がある。（通常学習の受講状況を一覧できる機能はないか？）

UeLAフォーラム

事例報告II 第二・第三部会合同

共通基盤教材の紹介とその活用事例

—8大学連携共同教育推進事業の15年を振り返って

座長

第2部会(コンテンツ・教材共有部会) 山川 広人(公立千歳科学技術大学)

第3部会(ICT活用教育事例部会) 日永龍彦(山梨大学)

事例報告II 第二・第三部会合同 共通基盤教材の紹介とその活用事例(概要)

2012年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」は千歳科学技術大学を代表校とする国立・私立8大学による連携のもとで進められ、補助期間終了後も独自に協定を締結してこれまで事業を継続してきました。当初からUeLA/JADEともステークホルダーとして連携し、各種の共通基盤教材の開発を進め、その活用実践事例を蓄積しています。

今年度のフォーラムではUeLA第2部会・第3部会が合同で本事業の足跡を振り返りながら、本事業の成果として構築されてきた共通基盤教材の紹介と入学前教育への活用事例、本事業と関連する学習支援活動事例を紹介します。

事例報告II 第二・第三部会合同 共通基盤教材の紹介とその活用事例(構成)

第1部 8大学連携事業の概要と共通基盤教材を活用した 入学前教育の実践事例

【報告1】8大学連携事業「学士力養成のための共通基盤システム
を活用した主体的学びの促進」の概要

小松川 浩 氏(公立千歳科学技術大学)

【報告2】共通基盤教材の整備過程とその概要

山川 広人 氏(公立千歳科学技術大学)

【報告3】共通基盤教材を活用した入学前教育の実践事例

愛知大学の事例(ビデオ発表) 湯川 治敏 氏(愛知大学)

山梨大学の事例 吉田 翔太郎 氏(山梨大学)

【質疑応答・意見交換】

事例報告II 第二・第三部会合同 共通基盤教材の紹介とその活用事例(構成)

第2部 8大学連携事業に関連する入学後の学修支援 実践事例

【報告1】学修観メタ認知を活用した支援の可能性

河住 有希子 氏(日本工業大学)

【報告2】振り返り文の精緻分析を通じた学修観変容支援

加藤 竜哉 氏(愛知大学)

【報告3】文章作成指導を通じた知的学習支援システムの構築

山下 由美子氏(帝京大学)

【質疑応答・意見交換】

学修観メタ認知を活用した 支援の可能性 (学修観WG)

日本工業大学 河住有希子

UeLAフォーラム2025及びJADE & UeLA 合同フォーラム
2026年3月4-5日 於：信州大学

アウトライン

- ・大学時代に育成する力
- ・学修観調査と学習者特性
- ・学生へのフィードバック（個票）
- ・学生との面談（13尺度81項目）
- ・授業内での運用（3因子）
- ・教員による学生理解のために
- ・今後に向けて

大学時代に育成する力

予測困難な時代において生涯学び続け、
主体的に考える力の育成（中央教育審議会H24）

「社会人基礎力」「学士力」、就業力、ジェネリックスキル、キーコンピテンシー

生成AIの時代
メタ認知能力、自己省察と自己調整学習等がますます重要に！

学ぶ力の現在地をどう捉え、学び続ける力をどう育てるか
⇒「学修観」を一つの指標とする

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

学修観

学習者特性を診断・可視化するシステムの開発と評価

山川広人・たなかよしこ・小松川浩 教育システム情報学会誌 Vol. 33, No. 2 2016

学修観（learning belief）とは

学習のしかたに対する「考え方の特性」

学習内容ではなく、学び方・捉え方に関する志向

学習者が「どのように学ぼうとするか」を捉える枠組み

学び方のメタ認知

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

学修観調査 81問（13尺度）

学修観（市川伸一ほか 24問 4尺度）

「失敗に対する柔軟性」「思考過程の重視」
「方略思考」「意味理解思考」

学習動機（市川伸一ほか 36問 6尺度）

「充実志向」「訓練志向」「実用志向」
「関係志向」「自尊志向」「報酬志向」

精神的回復力（小塩真司ほか 21問 3尺度）

「新奇性追求」「感情調整」「肯定的な未来志向」

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

学修観調査と学習者特性

13尺度を
「学習者特性」の因子として再整理
山川ほか（2016）

因子1：考えようとする意識
思考・感情のコントロール

因子2：行動しようとする意識
未来志向・学習への姿勢

因子3：周りの評価を気にする意識
対人・評価意識

因子① 感情調整
失敗に対する柔軟性
思考過程の重視
意味理解志向
方略志向

因子② 新奇性追求
肯定的な未来志向
充実志向
訓練志向
実用志向

因子③ 関係志向
自尊志向
報酬志向

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

学生へのフィードバック（個票）

大学名: ○○大学 学部: △△学部 学科: □□学科 学籍番号 1234567 氏名 山田 太郎

あなたの総合的特性 **HLH型**

感情調整
 失敗に対する柔軟性
 思考過程の重視
 意味理解志向
 方略志向 **High**

新奇性追求
 肯定的な未来志向
 充実志向
 訓練志向
 実用志向 **Low**

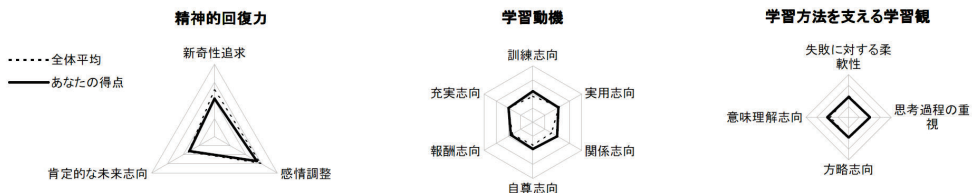
関係志向
 自尊志向
 報酬志向 **High**

英語得点 **8** 数学得点 **13** 日本語得点 **509**

友達や先生との関係を大切にし、自分の感情をコントロールしながら勉強を進めているところは良いです。学習していることの中身の大切さについてもう少し自分に引きつけて考えましょう。そうすると、将来設計を考える力や新しいものを受け入れる力がつきます。

大学生活で本を読んだり文章を書く機会を増やしましょう。日本語の検定を受けたりするのでもいいでしょう。4年間かけてゆっくり伸ばしましょう。英語を勉強しつつ日本語の論理的構造も学びましょう。特にプログラミングなどでは必要な力です。数学の授業の前に予習をしっかりとやりましょう。一人で難しいときには他の人に相談しましょう。

なお、この調査は、下の3つの心理尺度を用いて、それぞれの心理的な傾向がどれくらい強いかを測っています。ですから、1つの心理尺度の得点が高いか低いことはあまり重要ではありません。それぞれの項目・志向がどの程度で全体としてどうであるかという全体のバランスに注目し、上の「あなたの総合的特性」としてどんな傾向があるかを全体を8つのタイプに分類して示しています。自分の考え方の特徴を知ること、自己理解を進め、大学生活をより充実したものにするために何をがんばればいいのかという視点での分析です。



日本工業大学の個票

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

学生との面談（13尺度81項目）

Q1 どう思う？（まずは本人にコメントを求める）

個票の中のことばをいくつか説明

「充実志向」、例えば、学習そのものに対する興味を持っているということ。

「関係志向」、学習そのものに対する動機ではなく、周りの友だちや先生にひっぱられて勉強しようと思う気持ち。

「肯定的な未来志向」、自分の将来に希望がある思っているということ。

Q2 なぜそうなったと思う？

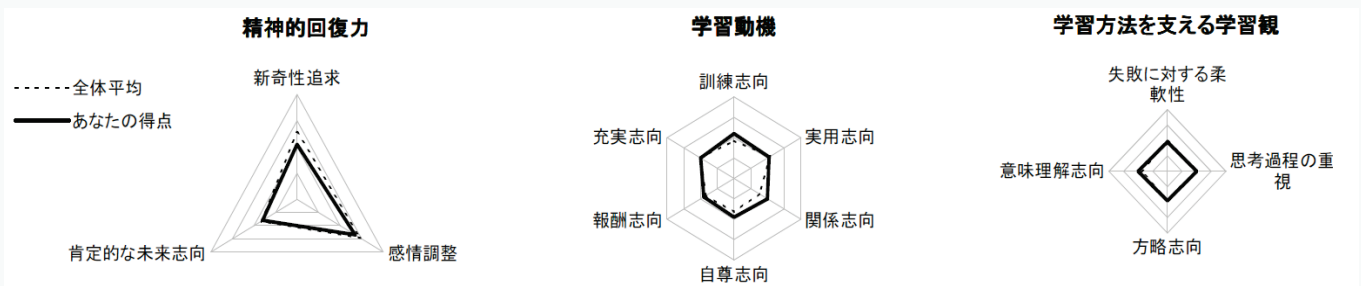
Q3 Q2による変化は、自分にとって意味があることだと思う？

Q4 （上級学年なら）大学入学時と今で変化していると思う？

Q5 これからの課題は何だと思う？

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

教員による学生理解のために①



学習動機

全体の上下のバランスが取れていると、向学心が高く進んでいける。下半分だけが顕著に大きいチャートになっている場合は、利益が得られない時に目的を見失い可能性もある。

学習方法を支える学習観

思考過程の重視と意味理解志向（水平の要因）が高い一方で、学力が追いつかないと自己肯定が下がってしまう場合がある。
垂直にある失敗に対する柔軟性と、方略志向(試行錯誤)ができないと、水平方向だけでは八方塞がりになる場合もある。

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

授業内での運用（3因子）

授業の目的（初年次教育科目）

- 自己調整学習の力を養う
- 学習言語としての日本語力を高める

授業内容

観察、思考を書き出し、フィードバックを受けながら更新する

学期末に全回の記録を冊子にまとめる。

その際、総括のページに自身の学修観を振り返って記述する。

- ・考えようとする力
- ・行動しようとする力
- ・認められようとする力

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

授業内での運用（3因子）

冊子を作るときに
「学習観」の考え方を説明

後日、集計結果を加えて
冊子を返却。
自分自身の言葉での振り返りと
他者との数値上の比較結果を
対照する。

希望者に対しては
個別の面談を実施。

「自分自身の学修観を知るための81問」へのフィードバックです。

81問の質問に対して、自分自身が選択した回答（自己評価）に基づいています。

H・Lは、全国の大学生が行った自己評価から相対的に見たときに、あなたの自己評価が高い傾向（H）にあるか、低い傾向（L）にあるかを示しています。

これは、良い・悪い、の評価ではありません。

自分自身の自己評価と、他の学生と比較したときの評価が同じである場合も、異なる場合も

あると思います。そのようなことも含めて、「自分自身を知る」ことがこの調査の目的です。

自分の考え方に改めて気づき、自分のどのような面を伸ばしていくかを考えるきっかけとしてください。

考えようとする力 H L
行動しようとする力 H L
認められようとする力 H L

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

教員による学生理解のために②

学習者特性と教員による評価

理工系専門基礎科目の記述式問題に
対する教員の評価と学習者特性

採点（5段階）

- 5 「必要な情報が整理されて記述されている」
- 4 「複数の情報が未整理の状態で見えている」
- 3 「一つの情報だけが記述されている」
- 2 「キーワードだけが書かれている」
- 1 「誤答、無回答など」

特性	5点	4点	3点	2点	1点
HHH	1	1	3	—	5
HHL	3	4	—	1	1
HLH	—	—	1	—	2
LHH	—	2	1	2	2
HLL	—	1	—	—	1
LHL	—	2	—	1	1
LLH	4	3	2	2	3
LLL	2	—	—	2	1

表中の数値は人数

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

教員による学生理解のために③

学習者特性、日本語力と学習の傾向

日本語力が高い（高2レベル以上）で、

自己肯定感が**高い**学生

自己肯定感が**低い**学生

→学習意欲を維持することで、学んでいける傾向

日本語力が低い（高1レベル以下）で、

自己肯定感が**高い**学生

→学べない原因を、他者に求める傾向

自己肯定感が**低い**学生

→学び方を見つけることが難しい傾向

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

今後に向けて

eポートフォリオでの運用

- ・学生が定期的に振り返りを記述する。

そのきっかけとしての「学修観調査」と集計結果

履修科目の成績やGPAとは別の観点で、

「学修観」により在学中の変容を記述する。

「社会人基礎力」「学士力」、就業力、ジェネリックスキル、キーコンピテンシー

- ・教員も学生の見取りや授業改善において参照可能。

Yukiko KAWASUMI
Nippon Institute of Technology

ありがとうございました

河住有希子

日本工業大学共通教育学群

振り返り文の精緻分析を通じた 学修観変容支援

加藤 竜哉

愛知大学 地域政策学部 地域政策学センター

アジェンダ

- 8大学連携における、学修観研究を振り返る
- 学生の振り返り文に注目した背景
- 振り返り文から学修観の変容を支援する試み
- まとめ

学修観因子整理

			↓河住先生ら		
			考えようとする力	行動しようとする力	認められようとする力
			因子1: 考えようとする意識	因子2: 行動しようとする意識	因子3: 周りの評価を 気にする意識
学習動機	内発的動機付け	充実志向(内容そのものが楽しい)		○	
		訓練志向(自己成長・能力向上)		○	
		実用志向(将来の役立ち)		○	
	外発的動機付け	関係志向(他者との関係・所属)			○
		自尊志向(承認・尊敬)			○
報酬志向(成績・資格・外的報酬)				○	
精神的回復力	新奇性追求			○	
	感情調整		○		
	肯定的な未来志向			○	
学習観	失敗に対する柔軟性		○		
	思考過程の重視		○		
	方略志向		○		
	意味理解思考		○		
↑市川先生, 小塩先生ら			↑山川先生ら		

8大学連携での
学生個票
2013年～
↓
測る
↓
学生が読める

大学名: _____ 学科: _____ 専攻: _____ 学籍番号: _____ 氏名: _____

<あなたの科目別基礎力>

	日本語	数学	情報	英語-Listening-	英語-Reading-
得点					
学内平均					
学内順位					

<分野別得点>

日本語

	点数	満点
漢字		
語彙		
文法・敬語		
読解力		

数学

情報

	点数	満点
情報活用の実践力		
情報の科学的な理解		
情報社会に参画する態度		

英語

<あなたが見た自分の学び>

あなたが見た自分の学びを知り、学びの姿勢を振り返りましょう

項目	度合い	あなたの得点(大学平均値)		
考えようとする意識の度合い	強い	62	(61)	最大 93
行動しようとする意識の度合い	強い	73	(73)	最大 100
周りの評価を気にする意識の度合い	強い	63	(54)	最大 96

コメント

「考えようとする意識の度合い」、「行動しようとする意識の度合い」、「周りの評価を気にする意識の度合い」の3つの自己評価から総合的に判断すると、次のようになります。

いままで、あなたは柔軟な姿勢を保ち、勉強にも前向きに取り組んできています。また、友人や教職員との関係を大切に、自分の感情をコントロールしながら勉強を進めているところは良いです。

将来に対する明確な目的をもって、学習に対しても中身を理解する姿勢がみられます。つまりさきそうになった時には早めの人に相談しましょう。

これらのことを考えて、自分の学びの姿勢を振り返りましょう。(度合いは、あなたの大学でのアンケートの平均と比較し、平均値より大きい場合は「強い」、小さい場合は「弱い」と表現しています。)

なお、このアンケートを複数回受けているときは、それぞれのあなたの得点を比較して、学ぶ姿勢の変化を知ることができます。

あなたの結果 _____ 大学平均 _____

学びの欲求	学習方法のもとにある考え
	<p>① 確や知力を鍛えようという思いから学ぼうとしている</p> <p>② 生活や将来の仕事に活かそうという思いから学ぼうとしている</p> <p>③ 学びにおいて、友達、先生、親などの周りの人との関係を重視している</p> <p>④ 自分のプライドや他者と競う思いから学ぼうとしている</p> <p>⑤ 将来の生活や働き方を考えるために学ぼうとしている</p> <p>⑥ 勉強することや、わかることの楽しさから学ぼうとしている</p> <p>⑦ 失敗したときや、つまづきを前向きにとらえて克服しようとしている</p> <p>⑧ 答えだけでなく、解き方や考え方も大事にしようとしている</p> <p>⑨ 学習のしかたや方法を工夫しようとしている</p> <p>⑩ 学習の中身の意味を理解しようとしている</p> <p>⑪ いろいろなことに興味、関心を持ち、それらを知りたいとチャレンジしようとしている</p> <p>⑫ 自分の感情をコントロールしようとしている</p> <p>⑬ 明るい未来を思い、その将来に向けて進もうとしている</p>

研究(1)2014年： 学びのスタイルと学修観アンケートの関係性

• 早期支援の見立て(測定→見立て→支援)

- 学生・教職員が共有できる“ものさし”を模索
- 狙い：入学直後に、支援が必要な層を早期に見立てる
- 知見：学修観は「動機×学習方法」の関係として読みうる
- $\pm 2\sigma$ などの極端値を手がかりに and条件で抽出
→面接で確認し、表面的には適応して見える“潜在リスク”を捉えうる

研究(2)2016年： 学習者特性を診断・可視化するシステムの開発と評価

• 授業内で利活用できる可視化

- 学習者特性の診断→可視化→eポートフォリオ化
- 可視化は、学生のメタ認知・自己省察の「入口」になる
- 知見：学生は「レーダーチャート」より「タイプ+アドバイス」を使う
- 「見せ方」が支援効果を左右する

8大学連携での
学生個票
2015年～

学籍番号: _____ 氏名: _____

<あなたの科目別基礎能力>

得点	日本語	数学	情報	英語
学内平均				
学内順位				

<分野別状況とコメント>

日本語

得点	学内順位	
学内平均		
学内順位		
学内順位		

数学

得点	学内順位	
学内平均		
学内順位		
学内順位		

英語

得点	学内順位	
学内平均		
学内順位		
学内順位		

<あなたが見た自分の学び>

あなたの結果 _____ 大学平均 _____

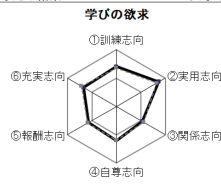
<p>①頭や知力を鍛えようとの思いから学ぼうとしている</p> <p>②生活や将来の仕事に活かそうとの思いから学ぼうとしている</p> <p>③学びにおいて、友達、先生、親などの周りの人との関係を気にしている</p> <p>④自分のプライドや他者と競う思いから学ぼうとしている</p> <p>⑤将来の生活を豊かにする/将来経済的によい生活をするために学ぼうとしている</p> <p>⑥勉強することや、わかることの楽しさから学ぼうとしている</p>	<p>①訓練志向</p> <p>②実用志向</p> <p>③関係志向</p> <p>④自尊志向</p> <p>⑤報酬志向</p> <p>⑥充実志向</p>
---	---

全員面談は現実的に難しい

- 8大学で共通に使える「軽量な返却形式」へ
- 6角形のみ出力に個票レイアウトを変更
- 共通ルーブリック作成も試行

<あなたが見た自分の学び>

あなたの結果 _____ 大学平均 _____



- ①頭や知力を鍛えようとの思いから学ぼうとしている
- ②生活や将来の仕事に活かそうとの思いから学ぼうとしている
- ③学びにおいて、友達、先生、親などの周りの人との関係を気にしている
- ④自分のプライドや他者と競う思いから学ぼうとしている
- ⑤将来の生活を豊かにする/将来経済的によい生活をするために学ぼうとしている
- ⑥勉強することや、わかることの楽しさから学ぼうとしている

研究(3)2019年～2020年

- ・科目を越えた学習特性把握のための数学的理論について
- ・特性ベクトルを用いた学生の潜在的基礎学力の可視化手法について

・科目横断の潜在特性(得点以外の見方)

・得点は「位置」を示すが、理解・判断・表現などの特性は見えにくい

→設問を能力タグ化し、正解パターンを特性ベクトルとして可視化

・結果: 得点分布とは別の特性群団が見え、教科を越えた共通特性の可能性が示唆

→「不得手の思い込み(優劣ではなく)」から、自己理解の更新

→「次の一歩へ(Selected Successの原点)」

研究(4)2023年

・大学入学時の学習動機に関する調査

・複数年の継続運用(支援設計の入口)

- ・ 枠組み: 市川モデルの6志向(内容関与: 充実・訓練・実用 / 内容分離: 関係・自尊・報酬)
- ・ 全体傾向: 内容関与が優勢, 特に実用志向が強い
- ・ クラスタで志向バランスの違いが見える
- 動機パターンは, **学習支援・アドバイジングで「働きかけ設計」の入口に**



学修観アンケート=入学時, 学期末などで実施
→ **動的に捉えられないか?**
毎回の授業後に得られる振り返り文なら,
学修観を「立ち上がり」として追えるのでは?



学生の「**振り返り文(自然言語データ)**」に着目

なぜ振り返り文なのか

- 学修観は行動だけでなく、言語化に現れる
- 振り返り文の強み
 1. 授業の意図と接続しやすい
 2. メタ認知・意味づけ・問いの“芽”が出る
 3. その場の理解と次の行動が同じ振り返り文に書かれる
- 課題: 大量・多様で、人手だけでは読めない
→ **読む枠組みが必要**

精緻分析とは

- 入力: 学生の振り返り文(毎回)
- 処理: 観点辞書(語彙, 正規表現) + 文脈ルール(質的条件)
- 出力: 観点別(0, 0.5, 1), 根拠文抜粋, 講評→次への指針(支援)
 - 次回は“問い”を1つ言語化しよう
 - 行動計画は「いつ／何を／どこまで」まで落としこもう
- 次の設計と支援へ接続
- 集計で見えること
 - 授業回ごとに、どの観点が立ち上がるか
 - どの回でどの支援が必要かを、教員側が早く掴める
- 共有価値: **大学・授業が違っても、同じ「ものさし」で、教員と学生が対話できる、「学生支援と授業改善」**→詳しくは午後の発表で

まとめに代えて

学修観を, 「測る」から「読む」へ
共通基盤を, 入学後支援へ接続

UeLAフォーラム2025 及び JADE & UeLA 合同フォーラム

事例報告Ⅱ 第二部会・第三部会合同

文章作成指導を通じた 知的学習支援システムの構築

2026/03/05@信州大学
帝京大学 山下 由美子

8大学連携事業に関わる経緯

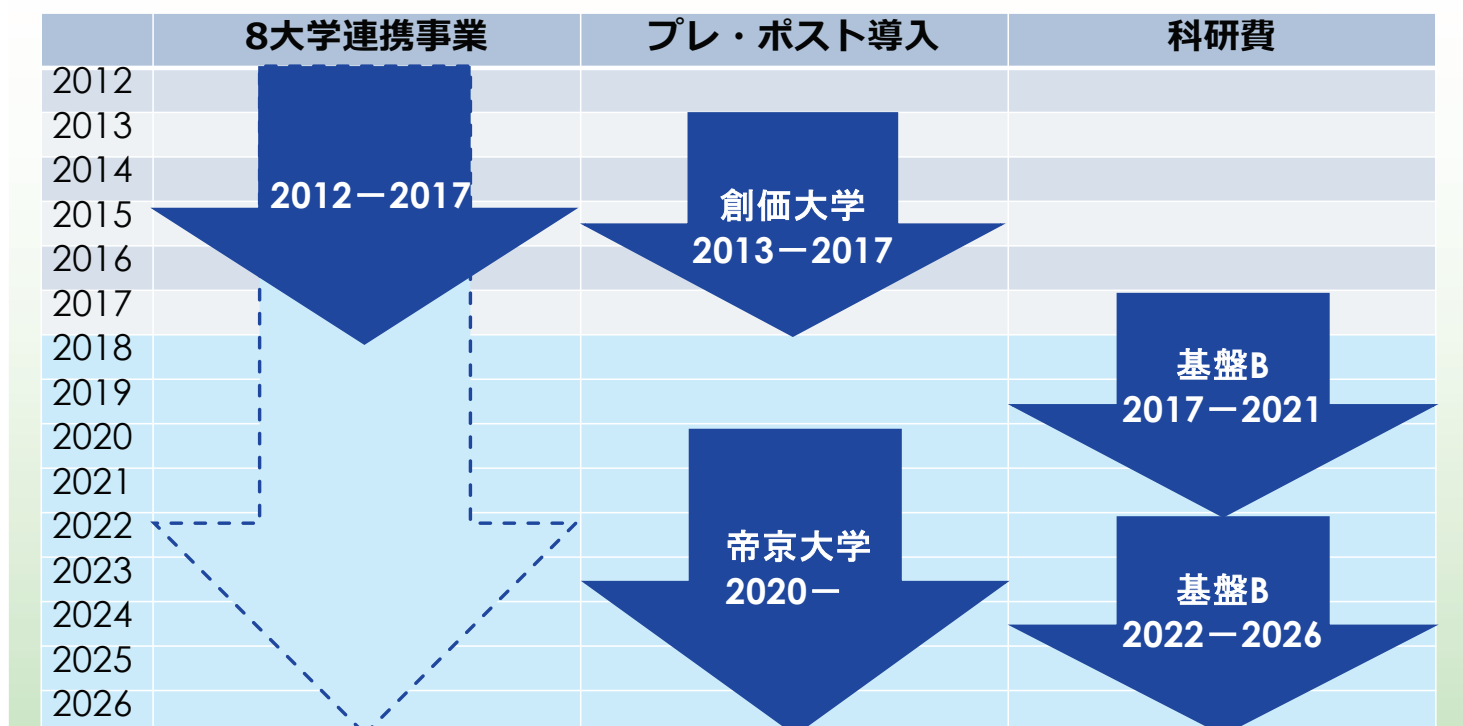
- 2012年度より、8大学連携事業の日本語WGに参加
 - ・大学生のための日本語練習問題作成 ⇒ 書籍化
(20問の10レベル、計1400問)
 - ・プレイスメントテスト70問
 - ・到達度テスト60問・100問



初年次生にプレイスメントテスト（70問）実施



8大学連携事業との関わりとその後



日本語練習問題紹介

日本語練習問題出題分野 (プレースメントテスト・到達度テスト)

- 漢字分野（読みと書き15問・四字熟語5問）計20問
- 語彙分野（ことわざ・成句5問・語義25問）計30問
- 文法・敬語分野（受身・使役・可能，敬語）計10問
- 短文読解分野 計10問

<計70問20分， 1点×70 = 70点満点>

漢字分野

(1) 念願成就を祈念した。

- ① せいしゅう ② せいじゅう ③ せいじゆく ④ じょうじゅ
⑤ じょうじゆく

(5) A町とB町で合祀をした。（下線部と同じ読み）

- ① 日米合作映画が封切られた。 ② 似合いのカップルだ。
③ 合図でスタートした。 ④ 先生の説明に合点がいった。
⑤ 合格点をいただいた。

(7) 賛否の決をトツタ。

- ① 取った ② 獲った ③ 捕った ④ 執った ⑤ 採った

(20) 森羅□象，まだまだ不思議に満ちている。

- ① 現 ② 林 ③ 満 ④ 徴 ⑤ 万

語彙分野

(22) 借りた金は□を揃えて返せよ。

- ① 手 ② 口 ③ 身 ④ 頭 ⑤ 耳

(43) 交流会を開きます。□会費を徴収することになります。

- ① 並びに ② 従って ③ ついては ④ もしくは
⑤ たとえば

(46) 外出の出で立ちでどこへ行くの？

- ① 見送りのため急ぎフェリー乗り場にかけた。
② 成り行きにまかせてその日暮らしの毎日。
③ 出発は明日に決まった。
④ 春らしい装いでイメージアップを図った。
⑤ 姉とおそろいのワンピースを買った。

文法・敬語分野

(53) 受身・可能・使役表現を最も適切に使っている文

- ① 小さめの服を無理に着させられた。
② 人前で恥をかかされた。
③ 弟を行かせれるよ。
④ この出口からは出れない。

(56) 部下からの適切な言い方

- ① 課長は明日会社に来れますか。
② 課長は明日会社に出勤いたしますか。
③ 課長は明日会社に出勤なさいますか。
④ 課長は明日会社にご出勤なされますか。

短文読解分野

次の文章を読んで、(61)～(65)の設問に答えてください。

現在、欧州・カナダなど世界の15か国が、地上約400km上空の軌道上に巨大な施設「国際宇宙ステーション」を建設するという（ア）を実施している。日本を中心に行っている「きぼう」という実験棟もその一つである。国際宇宙ステーションは、微小重力の宇宙空間に長期滞在しながら未知の可能性に挑む「宇宙の（イ）」である。（ウ）このような環境を利用して、新しい素材や新薬の（エ）、芸術や教育分野での利用に関する研究が行われる予定で、（オ）が期待される。

(61)（ア）に入る最も適切なものを選んでください。

- ① プログラム ② プロジェクト ③ システム ④ コラボレーション

(62)（イ）に入る最も適切なものを選んでください。

- ① サクセス ② チャレンジ ③ プロセス ④ フロンティア

(63)（ウ）の意味するところとして適切なものを選んでください。

- ① 地上約400km上空の軌道上 ② 巨大な施設「宇宙ステーション」
③ 微小重力の宇宙空間 ④ 前人未到の未知の世界

プレイスメントテスト
到達度テスト
導入実績

創価大学「学術文章作法Ⅰ」での 利用実績

- ・ 前後期全15回（2単位）の初年次必修科目
- ・ 第1回：授業ガイダンス、**プレイスメントテスト**（70問）
- ・ 第15回：まとめ、確認テスト、**到達度テスト**（60問）

- ・ テスト実施は8大学連携事業に携わっていた教員3名の担当クラスで実施
- ・ 紙媒体で実施（解答はマークシート）

帝京大学「eラーニングで学ぶ文章作法入門」 での利用状況

- ・ 前後期全8回（1単位）の初年次選択科目
- ・ 第1回：対面オリエンテーション + **プレイスメントテスト**
- ・ 第8回：動画視聴、確認テスト、コメント入力、**ポストテスト**

- ・ 日本語WG作成のプレイスメントテスト問題数70問→35問
- ・ プレとポストで同じテストを実施
- ・ LMSで実施

「eラーニングで学ぶ文章作法入門」での プレ・ポストテスト結果一例

2022前期				
	プレ全体	プレのみ	プレ+ポスト	ポスト
受験者数	131人	66人	65人	65人
平均	23.13	22.18	24.09	23.75
中央値	22	21	22	24
標準偏差	7.52	7.69	7.21	4.88

反省点と今後に向けて

- これまで確認する程度しか活用できていなかった
- 第1回オリエン時に、プレ・ポストテストの点数は成績に影響しないことを強調しすぎた？
⇒ ポストテスト（2点分）未受験者が多い
- レポートの点数、成績との相関も分析したい

科研費研究

科研費申請の経緯

- 8大学連携事業内のグループごとに科研費申請
⇒ 情報WG、数学WG
- 日本語WG、学修観WGの有志で科研費申請を検討
 - ・元々、学生からの「話し言葉を使わないようにしたい」との相談がきっかけで「話しことばチェッカー」開発を検討



日本語WGの賛同を得て、科研費申請

「話しことばチェッカー」開発経緯

2017年度：「話しことばチェッカー」システム開発開始
【JSPS科研費：17H01841】

2019年度：学生自身が文章内の話し言葉を検出する
初期話しことばチェッカー（個の学習）

2020年度：オンライングループでの**協調学習授業モデル**設計
（集団の学習）

2022年度：「**話しことばチェッカーWord出力版**」を開発
【JSPS科研費：22H03706 → 23K24961】

2024年度：文章タイプによる**検出方法切替機能**を開発
（論文・レポート文／感想文）

①初期話しことばチェッカー入力画面

CHECK	入力画面（800字まで）
話しことば検出	
OTHER	
ログアウト	

2017年の夏に筆者が信用金庫でインターンシップに参加した際、信用金庫の人事部の方が、高齢者と若者とのコミュニケーション課題を指摘していたことを記憶している。たとえば信用金庫をインターンシップ先として選択した学生に対し、来店する高齢者の方と若い方との上手なコミュニケーションを課題として挙げられていた。人事部の方も比較的高齢であり、ご自身が若い方とのコミュニケーションに苦勞されている話を含め、インターンシップ学生との距離感を会話でどのように縮めていけばよいのかという課題も伺った。

筆者自身も高齢者の方と交流する際にコミュニケーションをとることが難しいと感じることがある。最も難しいと感じたコミュニケーションは、ドラッグストアにおけるアルバイトでの経験である。筆者がアルバイト勤務しているドラッグストアのお客様は、高齢の方が多いと感じていた。主に筆者はレジ仕事が多いのだが、その中でいくつかコミュニケーションが上手くいかない場面があった。たとえば高齢のお客様が商品の合計金額が聞き取れず何度も聞き返す事、商品を説明する際に筆者が話している内容が聞き取れず二度三度商品説明すること、筆者とお客様お互いの商品に対するイメージが異なり高齢者のお客様が何の商品をお求めになっているのかを把握するのに時間がかかってしまうことなどである。このような状況では、お互いの会話の目的が違ったまま話してしまうことがある。筆者だけではなく、筆者の勤務するドラッグストアの従業員の方も同じ経験をされていると伺った。高齢者の方との意思疎通が欠けた結果お怒りになる高齢者のお客様もいらした。このような経験をするとともに、高齢者のお客様とどのようにコミュニケーションをとることで話のずれいやお互いの誤差を無くすることができるのだろうと疑問を持つ。

②話しことば検出

①文章を貼付

話しことば検出

検出結果画面

CHECK 検出結果
話しことば検出
OTHER
ログアウト

2017年の夏に筆者が信用金庫でインターンシップに参加した際、信用金庫の人事部の方が、高齢者と若者とのコミュニケーション課題を指摘していたことを記憶している。たとえば信用金庫をインターンシップ先として選択した学生に対し、来店する高齢者の方と若い方の上手なコミュニケーションを課題として挙げられていた。人事部の方も比較的高齢であり、ご自身が若い方のコミュニケーションに苦労されている話を含め、インターンシップ学生との距離感を会話でどのように縮めていけばよいのかという課題も伺った。

筆者自身も高齢者の方と交流する際にコミュニケーションをとることが難しいと感じることがある。最も難しいと感じたコミュニケーションは、ドラッグストアにおけるアルバイトでの経験である。筆者がアルバイト勤務しているドラッグストアの☆お客様☆は、ご高齢の方が多いと感じていた。主に筆者はレジ仕事が多いのだが、その中でいくつかコミュニケーションが☆上手くない☆場面があった。たとえばご高齢の☆お客様☆が商品の合計金額が聞き取れず何度も聞き返す事、商品を説明する際に筆者が話している内容が聞き取れず二度三度商品説明すること、筆者と☆お客様☆お互いの商品に対するイメージが異なりご高齢者の☆お客様☆が何の商品をお求めになっているのかを把握するのに時間がかかっ☆てしまう☆ことなどである。このような状況では、お互いの会話の目的が違ったまま話し☆てしまう☆ことがある。筆者だけではなく、筆者の勤務するドラッグストアの従業員の方も同じ経験をされていると伺った。高齢者の方との意思疎通が欠けた結果お怒りになる高齢者の☆お客様☆もいらっちゃった。このような経験をすると、高齢者の☆お客様☆とどのようにコミュニケーションをとることで話のすれ違いやお互いの誤差を無くすることができるのだろうと疑問を持つ。

ヒント

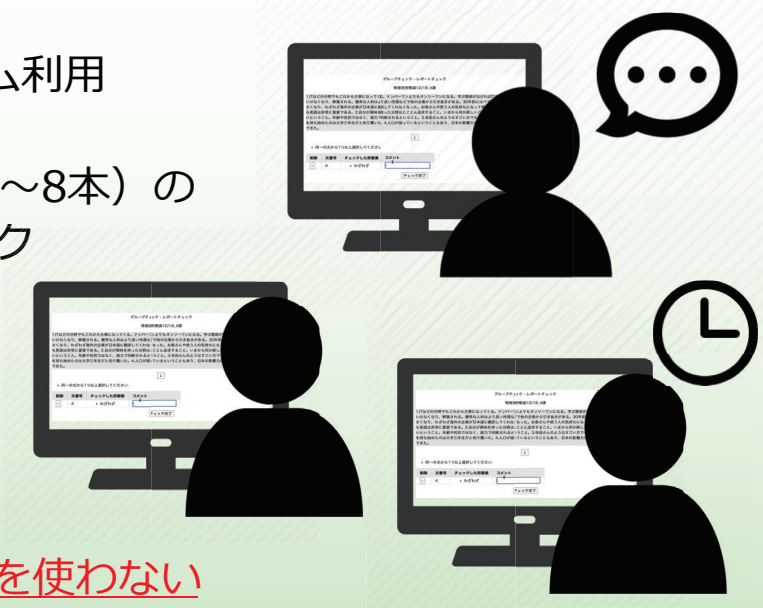
お客様		
例文	修正例	コメント
生産者情報を見せれば、お客様は安心して農産物を買える。	生産者情報を見せれば、客は安心して農産物を買える。	レポートや論文では、丁寧語や尊敬語は避ける

② 協調学習授業モデル（グループチェック）

- Zoomのブレイクアウトルーム利用
- 1グループ3~4人で形成
- 各グループで2グループ分（6~8本）の匿名処理済レポートをチェック

※システムのルールベースで検出できないあいまいな話し言葉も含め、学生同士でフィードバック

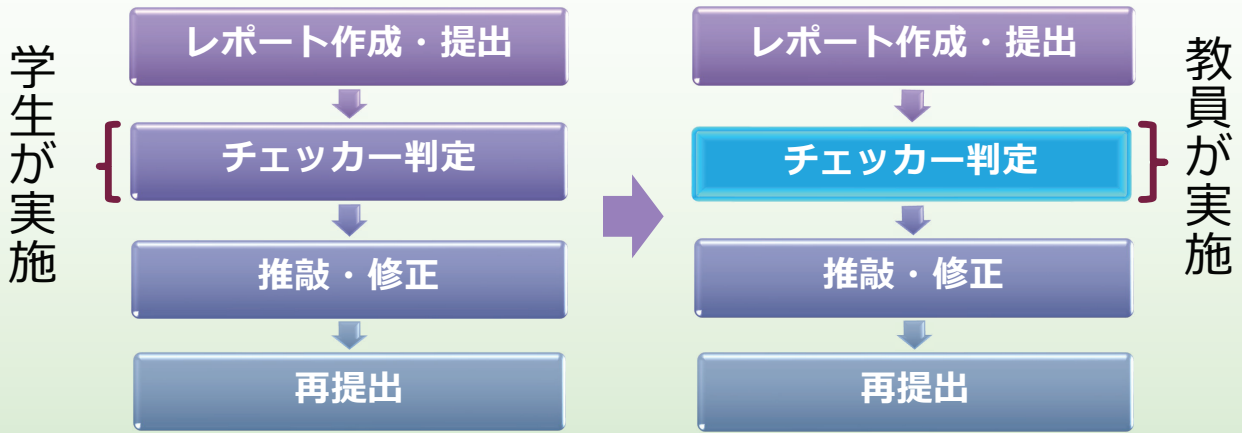
※学生は話しことばチェッカーを使わない



③話しことばチェッカーWord出力版

従来の「話しことばチェッカー」
使用法

Word出力版



報告者の担当授業がeラーニングによる初年次ライティング授業のため

Word出力版入力画面

話しことばチェッカー Word出力Demo

チェックする文章を入力し、Wordファイルに出力するボタンを押してください。

レポートの本文

現在、地球温暖化によって、様々な事が起こっています。地球全体の気温が上昇したり、食料問題があったり、海面が上昇して大陸がなくなってしまうことや、動植物の減少など、その他にもたくさん問題が地球温暖化によって、この地球に起きています。では、なぜ、このような問題が起こるようになったのか？また、地球温暖化を抑制するためにどうすればよいのか地球温暖化の現状・地球温暖化の原因、影響・地球温暖化の対策の3つに分けてこのレポートでは、述べていこうと思います。

2. 地球温暖化の現状
地球温暖化により世界平均気温は、上昇し、今現在も進行しています。環境省(2016)によると、陸地と海上を合わせた世界平均気温は、「1980年から2012年の期間に0.85度上昇して」います。また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも現状30年間は、高温を記録し、上昇する恐れがあります。この現状から有効な対策を取らなかった場合、「20世紀末頃(1986年~2005年)と比べて21世紀末頃(2081年~2100年)の世界平均気温は、2.6~4.8度上昇して」しまいます。厳しい対策を取ったとしても、「0.3~1.7度上昇する可能性があります」。さらに、「海面水位は、最大82cm上昇する可能性があります」。このことから、地球温暖化の対策をとらなければ約半世紀後には、より高い気温の中で生活しなければならぬということになります。また、厳しい対策をとったとしても気温の上昇は、免れないものだということが分かります。さらに、今後海面水位の上昇によって、大陸が水没して、生活する場所が少なくなる恐れがあります。

3. 地球温暖化の原因、影響
地球温暖化が発生するには、必ず原因があります。原因として挙げられるのは、経済発展に伴って化石燃料を多く使ったこと、そして、起きたのではないかとことです。環境省(2016)によると、「産業革命以来、人間は、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果大気中の二酸化炭素濃度は、産業革命前に比べて40%も増加しました。」その他にもメタン・一酸化二窒素・フロンなど、化石燃料から発生する二酸化炭素以外にも地球に害を与える温室効果ガスは、いろいろあります。また、地球温暖化の影響に関しては、動植物に於いては、作物(2000)によると、動植物は、それぞれ適した気温の地域に生息する必要があります。地球温暖化によって、気温が100年に2度上昇することは、成長が遅い植物にとって、こんなスピードで気温が上昇してしまうと、新しい地域に生息範囲を広げることが難しく、絶滅の危機に陥る可能性があります。これらのことから、地球温暖化の原因が、何なのか、また、地球温暖化を野放しにしてしまうと、動植物が驚異的なスピードで絶滅してしまうことが分かります。

4. 地球温暖化への対策
地球温暖化が発生したことで人々の生活に害を与えるので、その対策が世界各国で行われています。今この日本で取り組まれている地球温暖化の対策として環境省(2016)によると、炭素の長期大幅削減を行っています。これは、日本のみならず世界各国で取り組まれていることです。これは、地球温暖化の原因の一つとされている炭素の排出量を徐々に減らして最終的には、無くしていこうという考えのものです。これは、様々な環境技術を駆使してなるべく炭素を使わないような物を作るということです。これにより暮らすうえで必要な炭素を使わずに、代わりにほかのものに変えてしまえば必然的に炭素は減っていきます。現在、行われていることとして有名なものは、次世代の自動車開発です。従来の自動車だとガソリンを使って動かすので排気ガスが出てしまいます。ですが、次世代の自動車には、ガソリン動かすのを電気や水にして炭素の排出を減らしていくことができます。この他に、ゴミの焼却方法の開発を進めていったほうが良いと思います。今、ゴミの焼却は、火を使って燃やす方法になっています。なので、火ではなくほかのエネルギーで動かすことが地球温暖化の対策も進むのではないかと思います。これらのことから、地球温暖化の主な原因である炭素の排出を減らすことが、地球温暖化の対策に最も有効な手段だということが分かります。

5. まとめ
以上レポートでは、地球温暖化は、現在も深刻な状況が続いていることが分かります。対策を講じなければ100年後には、平均気温が2~4℃上昇して海面水位も今よりもたかくなり、生活がしづらい状況になります。このような状況が続くと動植物が絶滅していき、やがて人が生活する上で必要な食料がなくなって人も絶滅してしまいます。そうならないために、今、世界各国で自動車の例のような様々な取り組みを地球温暖化対策として講じています。本論で述べたように地球温暖化の原因は、経済成長に伴って化石燃料を多く使ったこと、それを抑制するために炭素の長期大幅削減を行って炭素を減らしていく地球温暖化を解決しようとして世界で取り組まれています。企業での取り組みだけでなく個人個人で対策できると思っているので、個人個人でも電気を使わずに、対策し、地球温暖化を抑制できたらと思います。このレポートでは扱いきれなかった地球温暖化には干ばつも大きく問題になっていっています。

①文章入力・貼付

Wordファイルに出力する ファイルをダウンロードする

③ファイルをダウンロードする

②Wordファイルに出力する

Word出力図

初検出話し言葉 : 

2回目以上検出時 : 

1. はじめに

現在、地球温暖化によって、様々な事が起こっています。地球全体の気温が上昇したり、食料問題があったり、海面が上昇して大陸がなくなってしまうことや、動植物の減少など、この他にもたくさん問題が地球温暖化によって、この地球に起きています。では、なぜ、このような問題が起こるようになったのか？また、地球温暖化を抑制するためにどうすればよいのか地球温暖化の現状・地球温暖化の原因、影響・地球温暖化の対策の3つに分けてこのレポートでは、述べていこうと思います。

2. 地球温暖化の現状

地球温暖化により世界平均気温は、上昇し、今現在も進行しています。環境省(2016)によると、陸地と海上を合わせた世界平均気温は、「1880年から2012年の期間に0.85度上昇して」います。また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年よりも最近30年は、高温を記録し、上昇する恐れがあります。この現状から有効な対策を取らなかった場合、「20世紀末頃(1986年~2005年)と比べて21世紀末頃(2081年~2100年)の世界平均気温は、2.6~4.8度上昇して」しまいます。厳しい対策を取ったとしても、「0.3~1.7度上昇する可能性があります」。さらに、「海面水位は、最大82cm上昇する可能性があります」。このことから、地球温暖化の対策をとらなければ約半世紀後には、より高い気温の中で生活しなければならないということになります。また、厳しい対策をとったとしても気温の上昇は、免れないものだということが分かります。さらに、今後海面水位の上昇によって、大陸が水没して、生活する場所が少なくなる恐れがあります。

3. 地球温暖化の原因、影響

地球温暖化が発生するには、必ず原因があります。原因として挙げられるのは、経済発展に伴って化石燃料を多くて使いすぎたことによって、起きたのではないかということです。環境省(2016)によると、「産業革命以来、人間は、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果大気中の二酸化炭素濃度

④ 検出方法切替機能

- 当初はアカデミックレポートを想定
- 授業によってレポートのタイプが異なる
例) 講演を聴いての感想、社会問題に対する意見
「私」「思う」「感じる」等表現の出現



「論文・レポート文」と「感想文」で検出方法切替
➡ 現行の話しことばチェッカー

現行話しことばチェッカー入力画面

話しことば
チェッカー

話しことばチェッカー

送信された文章の中から話しことばの箇所を検出し、レポート等に役立てることができる助言を表示します。
文章を枠内に貼り付け、「話しことば検出」ボタンを押してください。(5000字まで)

※ 論文・レポート文は「である体(常体)」を基本とし、感想文では「です・ます体(敬体)」や主語(私)などを話しことばとして検出しません。

①文章入力・貼付

1, はじめに
現在、地球温暖化によって、様々な事が起こっています。地球全体の気温が上昇したり、食料問題があったり、海面が上昇して大陸がなくなってしまうことや、動植物の減少など、この他にも**たくさん**の問題が地球温暖化によって、この地球に起きています。では、なぜ、このような問題が起こるようになったのか？また、地球温暖化を抑制するためにどうすればよいのか地球温暖化の現状・地球温暖化の原因、影響・地球温暖化の対策の3つに分けてこのレポートでは、述べていこうと思います。

2, 地球温暖化の現状
地球温暖化により世界平均気温は、上昇し、今現在も進行しています。環境省(2016)によると、陸地と海上を合わせた世界平均気温は、「1880年から2012年の期間に0.85度上昇して」います。また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも最近30年は、高温を記録し、上昇する恐れがあります。この現状から有効な対策を取らなかった場合、「20世紀末頃(1986年~2005年)と比べて21世紀末頃(2081年~2100年)の世界平均気温は、2.6~4.8度上昇して」しまいます。厳しい対策を取ったとしても、「0.3~1.7度上昇する可能性があります」。さらに、「海面水位は、最大82cm上昇する可能性があります」。このことから、地球温暖化の対策をとらなければ約半世紀後には、より高い気温の中で生活しなければならないということになります。また、厳しい対策をとったとしても気温の上昇は、免れないものだということが分かります。さらに、今後海面水位の上昇によって、大陸が水没して、生活する場所が少なくなる恐れがあります。

3, 地球温暖化の原因、影響
地球温暖化が発生するには、必ず原因があります。原因として挙げられるのは、経済発展に伴って化石燃料を多くて使ったことによって、起きたのではないかとことです。環境省(2016)によると、「産業革命以来、人間は、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させてきました。その結果大気中の二酸化炭素濃度は、産業革命前に比べて40%も増加しました。」その他にもメタン・一酸化二窒素・フロンなど、化石燃料から発生する二酸化炭素以外にも地球に害を与える温室効果ガスは、いろいろあります。また、地球温暖化の影響に関してあげられるのは、動植物に関してです。荳村(2000)によると、気温が100年に2℃上昇することは、成長が遅い植物にとって、**こんな**スピードで気温が上昇してしまうと、新しい地域に生息範囲を広げることが難しく、絶滅の危機に繋がる可能性があります。これらのことから、地球温暖化の原因が、何なのか、また、地球温暖化を野放しにしてしまうと、動植物が驚異的なスピードで絶滅してしまうことが分かります。

論文・レポート文

論文・レポート文

感想文

感想文

検出結果画面

論文・レポート文

感想文

1, はじめに
現在、地球温暖化によって、様々な事が起こっています。☆地球全体の気温が上昇したり、食料問題があったり、海面が上昇して☆大陸がなくなってしまう☆ことや、動植物の減少など、この他にも**たくさん**☆の問題が地球温暖化によって、この地球に起きています。☆では、なぜ、このような問題が起こるようになったのか？また、地球温暖化を抑制するためにどうすればよいのか地球温暖化の現状・地球温暖化の原因、影響・地球温暖化の対策の3つに分けてこのレポートでは、述べていこう☆と思います。☆

2, 地球温暖化の現状
地球温暖化により世界平均気温は、上昇し、今現在も進行しています。☆環境省(2016)によると、陸地と海上を合わせた世界平均気温は、「1880年から2012年の期間に0.85度上昇☆して☆」います。☆また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも最近30年は、高温を記録し、☆上昇する恐れがあります。☆この現状から有効な対策を取らなかった場合、「20世紀末頃(1986年~2005年)と比べて21世紀末頃(2081年~2100年)の世界平均気温は、2.6~4.8度上昇☆して☆」しまい☆ます。☆厳しい対策を取ったとしても、「0.3~1.7度上昇する可能性があります」☆。☆さらに、「海面水位は、最大82cm上昇する可能性があります」☆。☆このことから、地球温暖化の対策をとらなければ約半世紀後には、より高い気温の中で生活しなければならないということになり☆ます。☆また、厳しい対策をとったとしても気温の上昇は、免れないもの☆だということが分かります。☆さらに、今後海面水位の上昇によって、大陸が水没☆して☆、生活する場所が少なくなる恐れがあります。☆

3, 地球温暖化の原因、影響
地球温暖化が発生するには、必ず原因があります。☆原因として挙げられるのは、経済発展に伴って化石燃料を多くて使ったことによって、起きたのではないかと☆ということです。☆環境省(2016)によると、「産業革命以来、人間は、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させて☆きました。☆その結果大気中の二酸化炭素濃度は、産業革命前に比べて40%も増加☆しました。☆」その他にもメタン・一酸化二窒素・フロンなど、化石燃料から発生する二酸化炭素以外にも地球に害を与える温室効果ガスは、いろいろあり☆ます。☆また、地球温暖化の影響に関してあげられるのは、動植物に関して☆です。☆荳村(2000)によると、気温が100年に2℃上昇することは、成長が遅い植物にとって、☆**こんな**☆スピードで気温が上昇☆してしまう☆と、新しい地域に生息範囲を広げることが難しく、絶滅の危機に繋がる☆可能性があります。☆これらのことから、地球温暖化の原因が、何☆なのか、また、地球温暖化を野放しにして☆しまうと、動植物が驚異的な☆スピードで絶滅☆してしまう☆ことが分かります。☆

1, はじめに
現在、地球温暖化によって、様々な事が起こっています。地球全体の気温が上昇したり、食料問題があったり、海面が上昇☆して☆大陸がなくなってしまう☆ことや、動植物の減少など、この他にも**たくさん**☆の問題が地球温暖化によって、この地球に起きています。では、なぜ、このような問題が起こるようになったのか？また、地球温暖化を抑制するためにどうすればよいのか地球温暖化の現状・地球温暖化の原因、影響・地球温暖化の対策の3つに分けてこのレポートでは、述べていこう☆と思います。

2, 地球温暖化の現状
地球温暖化により世界平均気温は、上昇し、今現在も進行しています。環境省(2016)によると、陸地と海上を合わせた世界平均気温は、「1880年から2012年の期間に0.85度上昇☆して☆」います。また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも最近30年は、高温を記録し、☆上昇する恐れがあります。この現状から有効な対策を取らなかった場合、「20世紀末頃(1986年~2005年)と比べて21世紀末頃(2081年~2100年)の世界平均気温は、2.6~4.8度上昇☆して☆」しまい☆ます。☆厳しい対策を取ったとしても、「0.3~1.7度上昇する可能性があります」☆。☆さらに、「海面水位は、最大82cm上昇する可能性があります」☆。☆このことから、地球温暖化の対策をとらなければ約半世紀後には、より高い気温の中で生活しなければならないということになります。また、厳しい対策をとったとしても気温の上昇は、免れないもの☆だということが分かります。さらに、今後海面水位の上昇によって、大陸が水没☆して☆、生活する場所が少なくなる恐れがあります。

3, 地球温暖化の原因、影響
地球温暖化が発生するには、必ず原因があります。原因として挙げられるのは、経済発展に伴って化石燃料を多くて使ったことによって、起きたのではないかと☆ということです。環境省(2016)によると、「産業革命以来、人間は、石油や石炭などの化石燃料を燃やしてエネルギーを取り出し、経済を成長させて☆きました。その結果大気中の二酸化炭素濃度は、産業革命前に比べて40%も増加☆しました。」その他にもメタン・一酸化二窒素・フロンなど、化石燃料から発生する二酸化炭素以外にも地球に害を与える温室効果ガスは、いろいろあります。また、地球温暖化の影響に関してあげられるのは、動植物に関して☆です。荳村(2000)によると、気温が100年に2℃上昇することは、成長が遅い植物にとって、☆**こんな**☆スピードで気温が上昇☆してしまうと、新しい地域に生息範囲を広げることが難しく、絶滅の危機に繋がる☆可能性があります。これらのことから、地球温暖化の原因が、何☆なのか、また、地球温暖化を野放しにして☆しまうと、動植物が驚異的な☆スピードで絶滅☆してしまう☆ことが分かります。

科研費研究のまとめと感想

- 話しことばチェッカーはそれぞれの機能にメリット・デメリットあり
- チェッカー利用が推敲の一助となった（ゲーム感覚？）
- チェッカー利用 ≠ 良いレポート
⇒ 今後、ライティング指導において生成AIとどう向き合うか、どう利用するか

8 大学連携事業に携わって

- 様々な大学の現状やWGの枠を超えた交流による知見の広がり
- プレイスメントテストが、アカデミックライティングで触れない「敬語・諺・四字熟語」等を学べる機会であることに気づけた
➡ 正答率だけでなく、各問題も含め分析したい
- 8大学を離れても共同研究や教材の活用等、今後にも繋がる取り組みができています

現行話しことばチェッカー（検出方法切替版） QRコード

ご清聴ありがとうございました

帝京大学・山下由美子

yamashita-yumiko@main.teikyo-u.ac.jp



誤検出や未検出もあります

